

甲斐市議会予算審査特別委員会会議録

1. 開催日時 平成25年3月19日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

出席委員（21名）

委員長	内藤久歳君	副委員長	斉藤芳夫君
	八代静枝君		小澤重則君
	藤田悟君		松井豊君
	清水正二君		米山昇君
	山本今朝雄君		坂本一之君
	有泉庸一郎君		長谷部集君
	三浦進吾君		猪股尚彦君
	山本英俊君		藤原正夫君
	名取國士君		小浦宗光君
	池神哲子君		保坂芳子君
	樋泉明広君		

欠席委員（なし）

傍聴議員（1名）

議長 河野勝彦君

説明のため出席した者の職氏名

市民部長	長田修君	教育部長	市川孝嗣君
税務課長	土肥冷子君	収納課長	花田茂美君
教育総務課長	奥野経雄君	学校教育課長	小林修君
敷島学校給食センター所長	小松重貴君	生涯学習文化課長	藤本さゆり君
スポーツ振興課長	斉藤積君	図書館長	湯本和仁君
指導監	内藤和彦君	しきしき幼稚園長	吉岡真理子君

資産税係長	長 田 隆 君	管 理 係 長	飯 沼 秀 司 君
徴 収 係 長	小田切 聡 君	教育総務係長	岩 下 和 也 君
施 設 係 長	早 川 英 彦 君	学 事 係 長	飯 室 崇 君
保険給食係長	土 屋 達 巳 君	教育指導係長	與 石 信 君
生涯学習係長	樋 口 充 君	文化財係長	新 津 誠 君
スポーツ推進 係 長	山 岡 広 司 君	施設管理係長	箭 本 太 君
総 務 係 長	坂 本 和 代 君		

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	金 丸 博	書 記	小 澤 明
書 記	興 石 文 明	書 記	松 井 恵 美

開会 午前 9時28分

○書記（小澤 明君） 改めましておはようございます。

連日のご参集、お疲れさまでございます。

ただいまより、予算審査特別委員会を始めさせていただきます。

初めに内藤委員長よりご挨拶をいただき、内藤委員長により議事のほうを進めてさせていただきます。それでは、内藤委員長、よろしく申し上げます。

○委員長（内藤久歳君） 改めましておはようございます。

連日のご参集、大変ご苦労さまでございます。

きょうの新聞紙上を見ますと、南海トラフの被害総額と申しますか、220兆円というような想定の中で、山梨県内でもそれに基づいた被害も想定されているわけですが、改めて災害等に関する関心を持っていかなきゃいけないかなというふうに思っています。そういう意味では、今当初予算で、そういった業務が盛り込まれているような状況でございます。

きょうは、山日の一面にそろそろ桜の便りということで、彼岸桜、また箕面山では、しだれ桜が早く咲き過ぎちゃって困るなんていう地元の声もありました。日ごとに暖かくなっていくわけですが、きょうも活発な質疑をいただく中で、甲斐市の将来に向けてご審議をいただければありがたいかなと思いますので、委員各位のご協力をお願い申し上げまして挨拶にさせていただきます。よろしく申し上げます。

ただいまの出席委員は21名です。定足数に達しておりますので、これより予算審査特別委員会を開会します。

本日の会議を開きます。

○委員長（内藤久歳君） 本日は昨日に引き続き、一般会計歳出予算の歳出及び歳入の審査を行います。限られた時間内の審査ですので、委員各位のご協力をお願いします。

なお、所管の委員会あるいは所管以外の委員会の委員の皆さんの審議におかれましては、できるだけ多くの委員の方が質疑ができるように配慮していただいて質疑をしていただければいいかなというふうに思いますので、ご協力をよろしく申し上げます。

なお、質疑の中で個別に当局とのやりとりをすることは避けていただきたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

審査に当たり、質疑は一問一答で簡潔にお願いいたします。また、当局側の答弁も簡潔に説明していただきたいと思いますので、当局の皆さんのご協力をお願い申し上げます。

それでは、審査に入ります。

議案第23号 平成25年度甲斐市一般会計予算を議題といたします。

初めに、教育部所管の第10款教育費について順次審査を行います。

それでは、教育総務課の所管事業の第1項教育総務費、第2項小学校費、第3項中学校費及び第13款諸支出金、第1項基金費のうち、教育総務課所管事業についての説明を求めます。
奥野教育総務課長。

○教育総務課長（奥野経雄君） 改めましておはようございます。ご苦労さまです。

教育総務課関係の教育費の内容について、ご説明をさせていただきます。

また、委員の先生方には、年度末、年度初めにおかれまして学校の諸行事にご出席をお願いしているところでありますけれども、何分よろしくお願いいたします。

それでは、順次説明をしてみたいと思いますが、先ほどもございましたけれども、参考資料の1ページからということで進めさせていただきたいと思います。

なお、教育費全体では、25年度は、昨年度の当初見込みに比べまして3億円ほどのマイナスということで組み立ててございますので、よろしくお願いいたします。

それでは、早速でございますけれども、1ページをお願い申し上げます。

001教育委員会運営費157万4,000円でございますけれども、これにつきましては、教育委員の報酬と事業費、教育委員会の事務経費等、年間の諸経費の積み上げでございます。

昨年に比べまして、若干18万8,000円ほどふえておりますけれども、各年の研修の車の借り上げ代等をお願いをしたものでございまして、そんな結果になっておりますので、お願いいたします。

なお、中身につきましては委員の報酬が105万円、あと、負担金、使用料、事務費等の集計でございますので、よろしくお願いいたします。

なお、教育委員会でございますけれども、年度途中でございまして、委員さんの出勤は年間30回前後でございますので、その中の報酬ということでよろしくお願いいたします。

続きまして、教育総務費、1教育総務費、事務局費のご説明を順次させていただきたいと思っております。

まず、001教育委員会管理関係職員費でございますけれども、こちらにつきましては教育長、教育部長及び教育総務課と学校教育課職員計22名になりますけれども、やっぱり現員現給ということで、25年度の賃金ということで、職員の人件費を計上させていただいておりますので、よろしくお願いいたします。

次に、教育管理関係嘱託、臨時職員費552万円でございますけれども、そこにもございますスクールバス運転手、嘱託になります。2人分の人件費でございます。報酬、社会保険料等含まれておりますので、よろしくお願い申し上げます。

続きまして、010事務局運営費832万1,000円でございます。これにつきましては、学校教職員の有給休暇、疾病等に係る代替職員の賃金、それに含めまして学校評議員の報償85人分になりますけれども、計上してございます。

あと、事務局運営経費、これにつきましては、消耗品、旅費等いわゆる年間の事務経費ということで、178万2,000円をお願いをしております。

あと、防犯ブザーでございますが800個、21万9,000円と、こども110番の家のプレート、これも予備も含めまして100枚を購入する予定でございます。

あと、通学路ののぼり旗、これも24年度から設置をしております。そこには200枚とございますが、現在150カ所以上既に設置をしておりますけれども、なかなか雨、風に弱いものですから、その予備も含めまして再度周知を図る意味で購入を予定しております。

あと、諸機関の負担金等を計上させていただきまして、合計で832万1,000円ということでお願いをするところでございます。よろしくお願いいたします。

続きまして、学校評価事業でございます。221万7,000円。こちらにつきましても、ほぼ例年同様の額をお願いするところであります。学校教育法に基づきまして学校評価を実施するための事業経費でございます。内容でございますが、事務処理アンケートの集計、分析作業等を外部委託をしております。その委託分が120万8,000円ほど、あと、諸用紙の印刷、マークシート代等77万4,000円。あとは、運送料等を含めまして221万7,000円ということでお願いをするところでございます。よろしくお願い申し上げます。

あと、1ページ最後になります。教育委員会公用車維持管理事業ということでございます。こちらにつきましては、教育総務課のほうで、教育委員会内の公用車6台を一応維持管理をしておりますので、その分にかかります年間の経費をお願いするものでございます。よろしくお願いいたします。

続きまして、2ページをお願い申し上げます。

これまで事務局関係の予算の説明をしまいましたが、小学校費に移らせていただきます。

まず、最初に人件費でございます。001小学校関係職員費3,461万8,000円ということでございますけれども、こちらにつきましては、小学校に勤務をしております司書、栄養士、調理員の正職員6人の人件費でございます。昨年に比べまして減少しておりますけれども10人、昨年と比べまして、退職その他で人数減っておりますので、その関係で減少しておりますので、お願いいたします。

続きまして、嘱託臨時職員費でございます。7,683万2,000円を計上させていただいておりますけれども、先ほどは正職員でございましたが、こちらにつきましては、調理員等の臨時職員34人分ということで人件費を計上させていただいております。よろしくをお願いいたします。

続きまして、各小学校維持運営費等ということで2億4,215万2,000円を計上させていただいております。こちらにつきましては事業関係でございますので、財源といたしましては公共施設整備の繰入金を財政のほうで調整をさせていただきまして、残りの2億2,615万2,000円を一般財源で補うということで組み立ててございますので、よろしくをお願いいたします。

それでは、まず、右側の事業の概要に移りますけれども、維持運営費といたしましては1億5,981万4,000円をお願いをするものでございます。これにつきましては、年間の施設維持運営費ということで、消耗品、電気料、水道料金、電話料、コピー機リース料等々年間の学校ごとの経常費の積み上げでございます。

中身でございますけれども、細かくは説明をさせていただきますませんが、通常の需用費に始まりまして、需用費につきましては、光熱水費を初め、事務用品等でございますけれども、役務費、委託料、委託料の特別なものは後で説明をさせていただきますけれども、施設の警備委託、保安委託、あるいは設計監理関係の委託費も含まれておりますが、それに使用料、あとは学校ごとの工事請負費、修繕費、原材料費、あと、年間の必要な備品の購入費等々の合計を計上させていただいたものの集計でございます。11校ございますので、1校当たりの年間の維持運営費といたしましては、小学校でございまして1,537万円ほど経常必要となっております。平均でございます。一千五百万ちょっと平均で、1校当たり支出をさせていただいております。

次に、設計委託料1,960万円の内容でございますけれども、これにつきましては、ここにもございます、敷島南小学校プール改修工事設計監理委託ということで、これも25年度に予

定しておりますので、計上させていただいております。

あと、学校施設非構造部材耐震調査委託ということで、これも前回もご説明させていただきましたけれども、160万円ほど1校分かかります。これでいろいろ国の指針がそろそろいただけるということの中で、それに見合った非構造部材ということでございますので、天井を含めまして、電気、窓ガラス、主体構造部以外でございますが、そういう器具類につきましても一応調査を全て入れて、必要な部分から手直しをしていこうということで予定しております。よろしくお願いを申し上げます。

あと、そこにごございます工事請負費の主要事業でございますけれども、こちらにつきましては、玉幡小学校の受水槽改修工事から始まりまして、敷島南小学校プール改修工事まで来年度予定しているところでございます。

あと、公有財産購入費でございますけれども、敷島北小学校駐車場用地購入ということで、こちらにつきましては、県道で用地を、従前あった敷島北小学校の駐車場の用地、ちょうど真ん中を横断するような形で、土地を県のほうに提供いたしましたので、その分に見合う駐車台数、現在七、八十台はびっしり詰め込んで、1番奥の車は出られないような格好になってしまいますけれども、イベントのときには通学区域がここは広いものでございますので、そんな関係で七、八十台、そこまでいなくても全体的な部分で変わらない用地を確保するというで予定しております。予定をしている面積につきましては、約530平米ほどを予定しておるところでございます。よろしくお願ひ申し上げます。

あと、備品購入費でございます。1,267万6,000円でございますけれども、これにつきましては、竜王小学校の放送機器、昭和50年前後になりますけれども、修理はしておったんですが、最終的な部分で修理不能ということで、現在調整をしながら使用しておりますけれども、その交換あるいは小学校の備品の購入費、合計いたしまして1,267万6,000円をお願いするものでございます。

あと、小学校ごとの内容でございますが、例年どおり維持運営費のほかに特別25年度にかかわるものについて、若干説明をさせていただきたいと思ひます。

全体的には先ほど申しましたとおり、非構造部材の調査、あるいは場合によっては耐震の施工ということで、それら予定しておるところでございます。

あと、竜王の南小学校にいきましては、校舎の外壁の塗装等を予定しております。大分塗装が剥がれ、ひび割れ等が発生しておりますので、予定しているところであります。

あと、先ほどから説明いたしておりますのが、敷島北小学校につきましては駐車場用地の

購入ということで予定をしております。

あと、敷島南小学校にまいりましては、プール改修工事を予定しております。

というところで小学校費の主な内容をご説明させていただいておりますが、よろしく願いを申し上げます。

備品につきましては、先ほど申し上げましたとおり、竜王小学校ほかは定額の備品購入費ということで計上させております。

以上、1校当たり1,537万円ほど平均で経費がかかっております。いろいろ電気料その他も節約をしている中でございますけれども、平均でいきますと、昨年よりは若干50万円ほど落ちた形で計上させておりまして、節約もしておりますので、よろしく願いを申し上げます。

それでは、ページは3ページになりますが、よろしく願いいたします。

維持運営費とは別に小学校の施設整備費ということで、7,105万2,000円を計上させていただいております。こちらにつきましては、全て一般財源ということで対応する予定でございます。

まず、最初の施設整備費、そこに手数料、委託料等ということでお願いをしておりますが、1,598万2,000円でございますが、こちらにつきましては、いわゆる全体が部分に係る事業費といたしまして計上させていただいたものでございます。うちの課のほうで対応したものは、ここに計上していただいておりますけれども、いわゆる設計書関係の書記代、諸用紙、CD等の購入経費、あるいは役務費では役務費手数料になりますけれども、高木処理、これも統一してみた中で対応しておりますので、課のほうで結構しますので、ここに計上させていただいております。あと、そこにございます委託料でございますけれども、これは単独工事、突発的なものも出てまいりますので、その設計委託料、約款でもございますけれども、計上してございます。

あとは、ネットワーク関係、学校のコンピューター関係の保守管理委託あるいは学校図書室のパソコンの設定、また、セキュリティ関係の委託の諸経費等々含めまして、1,598万2,000円ということで計上させていただいております。

あと、工事請負費でございますけれども、4,426万円ということでお願いをしております。竜王小学校プールサイド補修工事ということで、これにつきましては、プールサイドの塗装のし直し等々含めまして見直しを行う予定でございます。

あと、玉幡小学校防球防砂ネットの補修工事、追加になりますけれども、これらを含めま

して、最後、その他工事23件とございますけれども、これは小規模な改修工事等でございます。これらを含めまして4,426万円ということでお願いをするところでございます。

あと、そこにLAN再配線工事とございますけれども、これは学校の図書室等のパソコンの設定がされておられませんので、そんな関係で配線工事をさせていただき経費をお願いするところであります。

次に、備品購入費でございますけれども1,081万円。そこにごございます学校ネットワーク一人一台パソコン入れかえということで、これは157万5,000円確保でございますが、これは小学校分といたしまして10台を予定しております。これにつきましては、平成18年、19年ごろから一人一台パソコンということで学校に設置をしておりますけれども、大分、機器、ソフト等がいわゆる5年をスパンに考えておりますけれども、既にそれを経過しております、順次入れかえて合計額を5年くらいのスパンで予定をしております。その初年度ということで、まずはパソコンも一律同じ機種ではございませんので、内容を確認しながら古いものをかえていこうということで計画しておるところでございます。よろしくお願い申し上げます。

あと、工事請負費の中の小学校トイレ改修工事（洋式化等）ということでございますが、こちらにつきましても当てが80万円ほど計上させていただいております。これにつきましても、前回ちょっと話をさせていただきましたけれども、洋式化あるいは洋式化しているものの中のウォシュレット化ということで、これもどこに何基ということで、今まだ決定はしておりませんが状況を確認しながら、随時トイレ改修ということで進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは、続きまして資料の4ページをお願いを申し上げます。

中学校費のほうに移らせていただきます。

まず、001中学校関係の職員費でございます。3,493万円、そこにごございます事業概要でございますけれども、こちらにつきましては小学校同様でございます。中学校5校の司書、栄養士、調理員等の正職員5名の人件費を計上させていただきました。よろしくお願いいたします。

次に、嘱託臨時職員費2,264万4,000円でございますが、こちらにつきましても、中学校5校の臨時職員費等の人件費でございます。司書、こちらは調理員等10名の人件費でございます。よろしくお願い申し上げます。

続きまして、003に参りまして、小学校同様でございます。各中学校維持運営費ということで1億6,245万1,000円を計上させていただきました。こちら事業でございますので、財

源の内訳でございますが、合併特例債4,720万円を財政のほうで調整をしていただき、残りを一般財源で賄うものでございます。よろしくお願い申し上げます。

それでは、事業の概容ということで、維持運営費の内容からご説明をさせていただきたいと思っております。

竜王中学校から双葉中学校まで5校の、小学校でもご説明いたしました、年間の維持運営費でございます。消耗品、電気料、水道料金、電話料あるいはリース料等々の維持運営費の合計を計上させていただき、9,069万円ということでお願いをするものでございます。内容につきましては、いわゆる学校施設にかかわる経費でございますので、先ほども説明申し上げました小学校同様でございますので、よろしくをお願いいたします。

なお、この中で、主なもの25年度だけのもの等々をご説明をさせていただきますと、竜王中学校につきましては、年間の維持運営費のほかになりますけれども、給食室、それと旧給食室とその北側でございます技術棟、これも耐震関係では、もう耐えられる建物ではございませんので、使用は技術棟はしておりませんが、解体を予定しております。

玉幡中学にまいりましては、御存じの報告をしておりますけれども、ガラスを割られたり、荒らされたりということで、頻繁という言い方は当たりませんが、結構、器物損壊やいろいろな発生をしております、玉幡中学校だけではございませんが、防犯ネットワークカメラということで、いわゆる被害防止、犯罪防止等に非常に役立つのではないかとということで考えておまして、中学校5校に本来設置をしたいのですが、とりあえず玉幡中学校に今年度一応リースで借り上げて4台になりますけれども、設置をしまして1年間様子を見たいなということで、リースで借り上げて設置をする予定でございます。状況は、またご報告をさせていただきます。

それと竜王北中、敷島中学校は例年どおりでございますが、敷島中学校にありましては、グラウンド、これも従前からいろいろ話が出ておまして、ちょっと状態が降雨時にはひどい状態になるということでいろいろ調べた結果でございますけれども、文化財包蔵地になっておまして、三宮寺遺跡でございますか、地下という言い方がどうか、地表から60センチ以上掘れない状況で、文化財の包蔵地の調査でございますから、最低1年以上かかる中で、そういうことでいろいろ考えてみまして、とりあえずはそうはいいましても、子供たちによく使っていただくようなことを考えておりますので、一応整備を計画しております。散水機等々も含めまして調査設計業務を来年度行いたいと思っております。その状況は報告し、その後のグラウンド整備の内容につきまして検討をしていく予定でございますので、よろしくお願

します。

あと、変わったところはそんなところでございます。

あと、工事請負費でございますけれども、これも4ページでございます。4,855万1,000円でございますが、これは計画的な部分の工事でございます。先ほど申し上げました竜中の解体工事、あわせて竜中の解体に伴う光ケーブル移設工事、これにつきましては給食室、技術棟の屋根部分でございますけれども、中学校へ利用するインターネット等々の回線が屋根を通して使っておりますので、この移設工事に要する経費を計上させていただきました。

あと、双葉中学校にありましては、職員室の拡張工事を予定しております。

あと、双葉中学校同じくでございますが、技術倉庫、物入れがないという現状の中で、設置を予定しております。また、もう一つ駐輪場の設置でございます。これも80台程度予定しておりますけれども、現行の駐輪場に接続するような形で、屋根のある自転車置き場ということで計画をしているところでございます。

それでは、5ページへ参りまして、中学校の施設整備費ということで5,413万6,000円、これにつきましては一般財源をお願いをするところでございます。これにつきましては、小学校同様でございます。全体を見た中の施設整備費、工事請負費、備品購入費の組み立てでございます。

まず、施設整備費797万8,000円でございますけれども、これにつきましては、小学校同様でございます。高木処理の経費、あるいはかくかく委託料等の積み上げでございます。年間の全体的な経費ということで予定をしているところでございます。

あと、工事請負費でございますけれども、これにつきましては竜王中学校オイルタンク地上設置工事、これにつきましては、その4段下にもございます。双葉中学校オイルタンク地上設置工事ということで、これにつきましては消防関係の現地の査察等もございまして、今、地下にオイルタンクを設置をしてはいけないような形で改正等指導がいろいろございまして、その地上に上げる工事の内容でございますが、予定をしておるところでございます。

玉幡中学の廊下の床の改修工事、これも大分老朽化が激しいものですから、今言う、塩ビシートですね、そんな形で計画を予定しております。

あと、竜王北中学校の窓枠改修工事、これも窓枠が大分垂れているところもございまして、改修工事を行います。

敷中に行きましては、正面玄関の補修工事、あとは双葉中学校のオイルタンク、先ほど申しました中学校のトイレ改修、洋式化等ということでございますが、これも順次5校、確認

をした中で進めていきたいと考えております。ウォッシュレット化も含めて施工を考えておりますので、よろしく申し上げます。

あと、LAN配線の再配線ということでございますが、これは図書室関係の接続工事の5校分をお願いをするものであります。

あと、その他工事といたしましては、学校ごとの小規模な工事がございます、それらを含めまして704万1,000円ということで計上してございます。

あと、備品購入費でございますけれども、こちらも主なものといたしましては、1人1台パソコンのネットワークパソコンの入れかえということで、6年目に入りますので、順次検討しております。全体の数字でございますけれども、小・中学校合わせまして100台を予定しております。ただ、竜王中学校を含めまして中学校の設置が早かったものですから、中学校をまずまずは最初に入れかえをしていきたいということで考えておりまして、そこがございます1,417万5,000円でございますけれども、こちらにつきましては竜王地区の中学校を、とりあえず一番古いものですから、優先をする中で90台、機種、中身、その他を確認しながら入れかえを予定しております。この経費が1,417万5,000円ということでお願いをするものでございます。あとの備品につきましては小学校同様でございます、いわゆる学校のLAN、パソコン関係の諸経費にかかわるものでございます。よろしくお願いを申し上げます。次にまいります。

諸支出金の基金費でございますけれども、これは予算説明書の152ページを申しわけございません。お願いいたします。

参考資料のほうには記入がございまして、申しわけありませんが、152ページの16奨学金貸付基金費ということでございます。1,000円計上させてお願いをするものであります。これにつきましては、甲斐市奨学金貸付ということで従前からやっておりますけれども、これの積み立て基金といたしまして、1,000円を計上させていただいておりますので、例年同様でございます。よろしくお願いを申し上げます。

なお、24年度につきましては2名の申請がございまして、現在貸し付け中でございます。大学生1名、高校生1名でございました。ということで経過しておりますので、よろしくお願いを申し上げます。

以上、教育総務課に係る部分の内容につきましてご説明申し上げます。よろしくお願いをいたします。

○委員長（内藤久歳君） 説明が終わりました。

これより説明に対して質疑を行います。

所管は総務教育常任委員会です。

所管の委員の質疑はございますか。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 2ページの001の小学校関係職員費ですが、6人とあるんですが、これは23年の見ると12人だったからどんどん減っているようですが、ちょっともう一回……。

○委員長（内藤久歳君） 岩下係長。

○教育総務係長（岩下和也君） ただいまの小学校関係職員費の6名の内訳でございますが、司書2名、栄養士2名、調理員2名ということで計上させていただいています。

また、平成24年度との人数の相違でございますが、平成24年度は10名を計上させていただきました。その内訳は司書3名、栄養士2名、調理員5名でございます。

よろしく願いいたします。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

松井委員。

○委員（松井 豊君） それが全部臨時に移行しているということで……。

○委員長（内藤久歳君） 岩下係長。

○教育総務係長（岩下和也君） 全部が移行ということじゃなくてですね、職員の中に退職する者もございます。そういう中での減員でございます。

○委員長（内藤久歳君） ほかにございますか。

猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） すみません。1ページの事務局費の中で、010教職員等の休暇に伴う代替賃金、この教員は何人に当たるんですか。

○委員長（内藤久歳君） 岩下係長。

○教育総務係長（岩下和也君） この積算の基礎ということでよろしいでしょうか。この根拠となる数字につきましては、スクールバスの運転代行が44日分、学校事務職の代替が10日分、臨時教員の賃金が40日分、養護教諭の代替が10日分、司書代替が10日分、調理員の代替が約590日分ということで、この数字を出させていただいております。よろしく願いします。

○委員長（内藤久歳君） ほかにございますか。

斉藤委員。

○委員（斉藤芳夫君） 学校施設の非構造部材の耐震、小・中学校で約2,500万円という予算

ですけれども、この点検の基本的なマニュアルはどういうことですか。

○委員長（内藤久歳君） 奥野課長。

○教育総務課長（奥野経雄君） 正式にまだ国からいただいております。私どもが聞いた範囲では、今年度中にいただけるということで聞いております。ただ、これまでもいろんな形で資料、事務連絡等々いただいております。その中でも、避難場所の耐震化を強化することから始まりまして、学校施設の防災機能の強化等々いろんな形で資料を国からいただいております。ただ、中間のまとめということではいただいている段階で、これからになります。3月中にいただけるものと私どもは考えておりますので、天井につきましても、いわゆるクリアランスという幅が広いの狭いのという話も、じゃ、何センチだというのがまだいただいているんです。あとは、学校の中のガラスが厚みは何ミリで大丈夫だよとかそういうことも、まだいただいておりますので、これからになりますけれども、いただけるものと思っておりますので、中身は大体承知はしておりますけれども、これから確認、調査ということで進めさせていただきたいと思っております。お願いいたします。

○委員長（内藤久歳君） 斉藤委員。

○委員（斉藤芳夫君） 基本的には大規模空間を持つ施設。この中にはほとんど武道場と体育館、甲斐市の場合が対象になるということだと思わんですけれども、その点検というか診断というのは資格者となっているけど、どういう方がやるという考えですか。

○委員長（内藤久歳君） 奥野課長。

○教育総務課長（奥野経雄君） 当然のことながら、いわゆる後の補修なり何なりできるまでの免許を持った設計士さんをお願いをする予定でございます。

○委員長（内藤久歳君） 斉藤委員。

○委員（斉藤芳夫君） 文科省のほうからそういうふうなやれという指示は来ている、マニュアルがちゃんと決まっていない、予算立ては予算だからとりあえずこのぐらいじゃないかという形で組んだと思わんですけれども、これまだ補助というような内容は話はないんですか。

○委員長（内藤久歳君） 奥野課長。

○教育総務課長（奥野経雄君） 補助関係の話でございますけれども、ただ、甲斐市に限らず、建物内の天井の調査をただけでは、補助対象になりません。その後、例えば竜王小学校の校舎の中の壁がちょっとまづいよということで、補修工事なり、その後の対策をとった場合は、その事前の調査、設計を含めまして補助対象になるということで決めがございまして、一応できる範囲で補助をいただくような形で進めていきたいと思っております。学校ごとに

異なりますのでいたします。

○委員長（内藤久歳君） 齊藤委員。

○委員（齊藤芳夫君） 天井がある建物で広いところは、落ちるとというのが想定されます。落ちるを想定しないとまずいんですけれども、文科省は撤去を推進したいという考えのようですけれども、言われれば撤去しますか。

○委員長（内藤久歳君） 奥野課長。

○教育総務課長（奥野経雄君） 今、ご指摘をいただきましたとおり、体育館のつり天井が現在4校ございます。竜王東、竜王北中、敷島中学校と竜王小学校。まだ、建てたばかりのところもございすけれども、いずれ震度幾つで落ちる、落ちないという話を国からされましても、震度9になるかもしれませんし、わからない部分がございます。うちのほうでは、内部で話もしたんですが、危ないものは支障がなければ外してしまうかというふうなことで考えております。

あとは、遮熱の関係も若干ございますが、そういう部分で補修なり、屋根に設置するなり、内側にできるものがございましたら、ございましたらでございます。ただ、つり天井はない体育館もいっぱいございますので、これらも参考にして、できれば今の段階では撤去してしまいなという考えでございます。今後の検討ですけれども、そんな状況でございます。

○委員長（内藤久歳君） 齊藤委員。

○委員（齊藤芳夫君） 撤去が一番いいんです。なければ落ちないんだから。ただ、避難所として、もし災害が起きたら落ちるという想定なんで、そうすると、今度災害が起きたらそこへ避難する。落ちたところへ避難しにゃならんというようなことが生じる。あるいは取っから災害が起きるんであれば、それは被害はその建物は使えるからいいんだけど、ただ、非常にその残念なことに、このもとの設計が天井があるから、あるいは音とか熱とかという……。

〔発言する者あり〕

○委員（齊藤芳夫君） 調査委託にしても、そういうことまで検討しないと調査委託にならないじゃないかということを言っているだけで。

○委員長（内藤久歳君） ほかにございますか。

米山委員。

○委員（米山 昇君） トイレの改修工事、早速計上していただきましてありがとうございます。

小学校と中学校、2カ所に計上してありますが、数を、予算上何カ所想定しているのか。
何カ所というか、何基を想定しているのか。

○委員長（内藤久歳君） 奥野課長。

○教育総務課長（奥野経雄君） 実際に設置の段階になりませんとわかりませんが、小学校で30カ所、中学校で40カ所程度を今予定をしております。

○委員長（内藤久歳君） 米山委員。

○委員（米山 昇君） 今、30カ所、40カ所と言いましたが、箇所じゃなくて数ですね、何基というか、そういうことで……。

○委員長（内藤久歳君） 奥野課長。

○教育総務課長（奥野経雄君） 申しわけございません。

30基、40基でございます。その様子で、また、それ以降も設置を検討してまいりますので、お願いいたします。

○委員長（内藤久歳君） 米山委員。

○委員（米山 昇君） 30基、40基で、その割には結構金額がいいように感じますが、当然これで終わりということじゃなくて、多分年次計画というような形でされるのではないかと思います、一応何年を計画年度としてされているのか。

○委員長（内藤久歳君） 奥野課長。

○教育総務課長（奥野経雄君） 全校で3年から4年くらいで設置等々見直しを完了したいと思っております。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

ほかにございますか。

名取委員。

○委員（名取國士君） 2ページで013竜王小学校の放送機器でちょっとお伺いしたんですけども、これはもう年数が来ちゃった、耐用年数が来ちゃって、もう消耗、修理はいかないことによって、取りかえするということですか。

○委員長（内藤久歳君） 奥野課長。

○教育総務課長（奥野経雄君） 竜王小学校の放送機器の入れかえということでございまして、既に30年以上使用をしております。校内放送の故障箇所が、配線が主な原因と機器の中核部分だと思っておりますけれども、全く音が出ないような状況であります。業者にも確認をしましたところ、かえの部品もない中で、簡単に言いますと老朽化くらいの形で、24年度ですから、

昨年ですけれども、急に夏ごろ壊れてしまいまして、見てもらったんですけれども、ずっと応急措置をしてというか、配線が全部、いわゆる施設の建物の中に配線がありまして、それらちょっともう全部見切れないということで、機器自体も大分古いもので部品等もないことから、全体をかえなきゃならないというふうな事態に陥りましたので、計上させていただいたところであります。

○委員長（内藤久歳君） 奥野課長、答弁は簡潔にお願いします。

名取委員。

○委員（名取國士君） これはアンプと配線だけの予算……。

○委員長（内藤久歳君） 奥野課長。

○教育総務課長（奥野経雄君） 機器全体の取りかえでございます。

○委員長（内藤久歳君） 名取委員。

○委員（名取國士君） 5ページの008、先ほどちょっと聞いたんですけれども、竜王中学校のオイルタンクの地上設置工事と言ったんですけども、これは2校とも地下にあるということですか。地下。

○委員長（内藤久歳君） 奥野課長。

○教育総務課長（奥野経雄君） 当初から地下に埋設をされたオイルタンクがございまして、その取りかえと言いますか、地上に持ってこなければ、今消防署で検査等通りませんので、そんな形で予定をしております。

○委員長（内藤久歳君） 名取委員。

○委員（名取國士君） 消防法が改正になって、ひっかかって、要するに地下に埋めてあるものは地上に出しなさいというあれですか。それは今年度から始まったということ……。

○委員長（内藤久歳君） 早川係長。

○施設係長（早川英彦君） すみません。その件につきましては、地下にあるものを全て地上に出せということではなくて、地下にありまして1,000キロリットルの貯蔵量を超えるもので、30年以上経過しているタンクにつきましては、中を改造とか改装しなければいけないと。ただ、現実的には学校で使用しておりますので、そちらをせずに、地上のほうに新たなものを設置したいと、そういうことでございます。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） 早川係長。

○施設係長（早川英彦君） 大変申しわけありません。

1,000リットルの間違いです。申しわけありません。

○委員長（内藤久歳君） 名取委員。

○委員（名取國土君） それは中学の2校だけですか。まだ、あと何カ所かあるんですか。

○委員長（内藤久歳君） 早川係長。

○施設係長（早川英彦君） 地下に入っているタンクは、ほかにもありますけれども、この2校以外のタンクにつきましては1,000リットル未満のタンクでございますので、今回の対象ではございません。1,000リットル以上のものについては、この2校のみになります。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

ほかにございますか。

猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） すみません、先ほど1ページの010こども110番の家のプレート100枚とあるんですけれども、これは本来、教育総務課で設置する場所等を全部お願いしたり、この新しくしたということだと思っただけけれども、この辺はどういうことなんですか。総務課で対応しているんですかね。

○委員長（内藤久歳君） 岩下係長。

○教育総務係長（岩下和也君） こども110番の看板につきましては、合併以前からこの制度がありまして、学校を中心に各家庭へお願いした経過がございます。そして、大分年数がたちまして各家庭の家の前にあるこども110番の看板が劣化したということで、各学校のほうから取りかえたい旨の連絡がありましたので、今年予算の中で100枚つくらせていただいで対応するという考えでございます。

○委員長（内藤久歳君） 猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） じゃ、その設置場所に対しては、要は長年たっていて、確認等の見直し等は教育委員会ではしていないということの解釈でいいんですか。

○委員長（内藤久歳君） 岩下係長。

○教育総務係長（岩下和也君） 各家庭にお願いしているのは各学校を通してお願いしておりますが、把握のほうは教育委員会のほうでしております。そして、看板等の設置についてのお願い等についても、学校を通じた中でやっている状況でございます。

○委員長（内藤久歳君） 猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） 要は、たまに気がつくのが、プレートがありますよね。でも、実際、例えばそこに日中いない事業所とか商店とかありますよね。だから、お願いしたいのは、こ

の金額的、これプレートだけだからだけど、要は教育委員会のほうで依頼をかけて、あと学校単位でみんな情報収集して設置してもらう。その後の見直しということは、何年に1回ぐらいはしなければ意味がなされていない。ただ、プレートがついていても、そこへ子供が逃げ込んでも誰もいないなんていうことであれば、それは見直しをしなきゃならない。その辺に対してどう思いますか。

○委員長（内藤久歳君） 奥野課長。

○教育総務課長（奥野経雄君） 今年度の秋口だったと思いますが、公聴会ございましたので、年度末に向けて、今のご指摘があったとおり、高齢で亡くなられた方の庭先に看板があったりとか、元商店で看板があって今やっていないとかいろいろございますので、調査を依頼してございます。学校ごとをお願いをして、新しい形の中で再度、再確認ということで年度内にとお願いをしてございますので、必要のないところは撤去、新しいところはつけるということで、今ちょうどやっておりますのでよろしく申し上げます。

○委員長（内藤久歳君） ほかにございますか。

有泉委員。

○委員（有泉庸一郎君） 先ほど2ページの小学校関係職員費で、職員の内訳をさっき説明していただきましたけれども、中学校のほうもちょっと説明していただけますか。

○委員長（内藤久歳君） 岩下係長。

○教育総務係長（岩下和也君） 中学校費の中学校関係職員の内訳でございますが、講師1名、司書1名、栄養士2名ということでございます。

○委員長（内藤久歳君） 有泉委員。

○委員（有泉庸一郎君） じゃ、こっちのほうには調理員の人というのは正職員ではないわけですね、中学校のほうには。

○委員長（内藤久歳君） 岩下係長。

○教育総務係長（岩下和也君） 中学校の調理員のほうでございますが、それにつきましては、その下の中学校関係嘱託臨時職員費のほうで賄っております。人数につきましては6名でございます。

○委員長（内藤久歳君） 有泉委員。

○委員（有泉庸一郎君） なぜ今その内訳を聞いたかというのは、今度竜王の給食のあれは試行的に民間に委託してやる。そうすると、中学校のほうには正職員の調理員というのは今聞いたように、いないということ。小学校のほうも先ほど2名ほど正規の職員の方がいらっしゃる

やると言いましたよね。これを今回の中学校だけなんですけれども、順次こういう小学校とか自校方式にはそれを広げていくような将来的な予定というのはあるということですね。そういう意味合いで、竜王中学校で初めて今回やるんだという捉え方でよろしいんですか。

○委員長（内藤久歳君） 奥野課長。

○教育総務課長（奥野経雄君） 調理員でございますが、今岩下が申したとおりでございますが、内訳でございますけれども、ご指摘のとおり竜王中学校は民間委託ということで進める中で、25年度の予算の調理員さんは竜王中学校が計上はしてございません。民間委託ということで進めていく予定でございます、その様子で順次検討していくことになっておりますので、よろしくお願いいたします。

○委員長（内藤久歳君） 有泉委員。

○委員（有泉庸一郎君） 主に聞きたかったのは、その民間委託をして要するに予算をスリムにしていこうという、そういう意図があつてこういうことを。今初めて調理員で正職員というのがいるというのがわかったものですから、そういう質問をさせてもらったんですけれども、そういう認識でいいということですね。

○委員長（内藤久歳君） 市川部長。

○教育部長（市川孝嗣君） 調理員の関係につきましては、3月の一般質問でもありましたけれども、竜王中学につきましては現在4名の市の臨時職員ということで、そのうちの3名につきましては、正職員が他の学校あるいは給食センターのほうで退職される方あるいは自己都合で退職されるということでありましたので、3名につきましては違う給食センターあるいは学校のほうの給食室、残る1名につきましては民間委託する、業者のほうにですね、引き取っていただくということで、そんなふうな内容でありますので、今後、民間委託ということになりますと当然民間のほうに委託になりますので、退職者のところへ補充を充てたり、あるいは業者のほうにあっせんをするというふうな内容で対応していきたいというふうに考えております。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

ほかに所管でございますか。

名取委員。

○委員（名取國士君） 3ページの014で敷島小学校消防施設改修工事とありますけれども、消防施設の改修工事、ちょっと内訳……。

○委員長（内藤久歳君） 早川係長。

○施設係長（早川英彦君） 敷島小学校の消防施設の改修工事につきましては、内容といたしましては煙感知機の不良箇所の交換、あと、通常の感知器の不良箇所の交換、火災ベルの、非常ベルですか、不良箇所の交換、あと、防火シャッターのやはり不良箇所の交換等々になります。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） 名取委員。

○委員（名取國土君） これは全部交換ということで、新しく設置するものはないんですね。

○委員長（内藤久歳君） 早川係長。

○施設係長（早川英彦君） 今回につきましては、物によりきり、新しくするところはありませんけれども、全体的に全く新しい施設に交換するということではなく、改修ということによってよろしくお願いいたします。

○委員長（内藤久歳君） 名取委員。

○委員（名取國土君） 防火ドアの何だ、あれは要するに防火ドアが開いちゃうということ。要するに開かないということ。そういうことでかえるということですか。防火ドアの今言ったの……。

○委員長（内藤久歳君） 早川係長。

○施設係長（早川英彦君） 今回につきましては、竜王小学校の防火シャッターが設置してありまして、そのシャッターがちょっと大変ふぐあいがありますので、そちらの修理のほうをさせていただきます。お願いします。

○委員長（内藤久歳君） 名取委員。

○委員（名取國土君） これは大切なことなんでね、そういうものは率先してどんどんやってもらって、安全をやっぱり準備できるように、よろしくお願いします。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

所管の委員に移る前に一言申し上げます。

委員長の発言の許可を得てから発言をしてください。よろしいですね。

所管以外の委員の質疑を受けます。

何かございますか。

藤田委員。

○委員（藤田 悟君） 1ページの010通学路のぼり旗で、200枚でポールが40本となっている

んですが、これはどこに使うんですかね。

○委員長（内藤久歳君） 岩下係長。

○教育総務係長（岩下和也君） 通学路ののぼり旗につきましては、実は平成24年4月に京都府の事故を受けて設置をし始めたものでございます。そして年度当初予算がございませんでしたので、小学校施設整備費のほうから支出をしていただき、200本の設置を行っているところでございます。

そして、先ほど課長のほうからも申しましたように、大分1年間ついていると劣化のほうが悪くなり、大分、旗として見ばえの悪くなったものもございまして、今回同じ場所につけかえるというために200本。それでポールのほうも折れたりなんかしておりますので、その取りかえ分として40本の計上をお願いするものでございます。

○委員長（内藤久歳君） 藤田委員。

○委員（藤田 悟君） 200枚で40本ということは、でも旗が多過ぎませんか。そんなに劣化しちゃうということですね。

○委員長（内藤久歳君） 岩下係長。

○教育総務係長（岩下和也君） 先ほども言いましたように、もう200本近くついております。ついておるところの旗が古くなったりポールが折れた場合の取りかえ分ということで、ご理解をお願いいたします。

○委員長（内藤久歳君） 藤田委員。

○委員（藤田 悟君） じゃ、もう一個、別件ですね。

3ページと5ページなんですが、学校のネットワーク1台パソコン購入、これが小学校で10台で1,150万円、要するに1台15万円ぐらいなんですね。実際、実勢価格というか、じゃ、まずこれはノートパソコンですか、それともデスクトップですか。

○委員長（内藤久歳君） 早川係長。

○施設係長（早川英彦君） 購入するパソコンにつきましては、ノート型のパソコンになります。

○委員長（内藤久歳君） 藤田委員。

○委員（藤田 悟君） 実勢価格としても、ノートパソコンでいろいろ入れても5万円ぐらいで実際にできるんですよ。15万円では高過ぎませんか。入札とかそういう何か競争とかしているんでしょうか。

○委員長（内藤久歳君） 奥野課長。

○教育総務課長（奥野経雄君） 一応見積もりをいただいたりということで、折衝させていただきましたが、本体のみならず甲斐市バージョンのいろんな学校関係のネットワーク、あるいは小学校のほうにつきますと、スクールネット等ございましたり、甲斐市の画面を見るためにいろんな設定、機器等も含まれておりますので、こんな値段になっております。もちろん安ければこしたことはございませんので、対応はしてまいります。

○委員長（内藤久歳君） 藤田委員。

○委員（藤田 悟君） 電気代の節約とかいろんな努力されているというのは承知していますので、この値段についても高いと思います。ぜひ努力をしてください。要望をお願いします。

○委員長（内藤久歳君） ほかにございますか。

坂本委員。

○委員（坂本一之君） 2ページの003の各小学校維持運営費の中で、工事請負費の中で竜王西小学校の防球ネットがあるんですけども、これオーディのところという、これ二、三年前に防球ネットつけたかと思うんですけども、これは追加というか、ほかのところにつけるんでしょうか。

○委員長（内藤久歳君） 早川係長。

○施設係長（早川英彦君） おっしゃるとおりオーディの横のところにありますけれども、本来であれば今年度設置する予定であったんですけども、急遽、敷島南小学校でちょっと苦情対応ということで、そちらのほうを優先するという格好で、ことしすみません、そちらのほうを設置させていただいて、来年度引き続き竜王西小学校のほうに設置させていただくこととなりますので、よろしく願いいたします。

○委員長（内藤久歳君） 坂本委員。

○委員（坂本一之君） もう一つ、やはり防球ネットと工事となると、やっぱりその下の竜王東小学校もうそうなんですけれども、夏休みの工事ということになりますかね。

○委員長（内藤久歳君） 早川係長。

○施設係長（早川英彦君） 基本的には夏休みの工事ということで予定はしておりますが、防球ネットにつきましては、授業に直接は関係ありませんし、工期自体もそれほど長くはとりませんので、できればそれよりも以前に設置させていただきたいと考えております。よろしくをお願いします。

○委員長（内藤久歳君） ほかに。

三浦委員。

○委員（三浦進吾君） 5 ページで、ここの中学校施設整備費の中で、4 段目にあります敷島中学校正面玄関補修工事と、これはどんなふうな状況になっておるか。また、170万円ということですか、今どんな状況になっておるか、ちょっとお聞きしたいと思います。

○委員長（内藤久歳君） 早川係長。

○施設係長（早川英彦君） 敷島中学校正面玄関の補修工事につきましては、実は敷島中学校の玄関、階段が何段かあるんですけども、そこが全部タイル張りになっておりまして、それが老朽化ということで、端のちょうど角のところはかなり割れた箇所があります。そういった箇所を全部張りかえ、部分的になりますけれども、その張りかえと、あともう一つ玄関の外側になりますけれども柱がありまして、その柱がかなり塗装のほうで傷んでおりますので、そちらの柱のほうも塗りかえということで、あわせて工事のほうをさせていただきます。よろしくお願ひします。

○委員長（内藤久歳君） 三浦委員。

○委員（三浦進吾君） 大変これ時間がかかっていると思うんですね。だから、もうちょっと早く対応をしてほしかったと思います、正面玄関だから。やっぱりこれは要望でいいですけども、大変遅いと思います。

○委員長（内藤久歳君） ほかにございますか。

樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 1 ページ、教育委員会の運営費であります。先ほど報酬が105万円というようなことで話されましたけれども、1人21万円の報酬になるんでしょうか。幾らになりますか。何人分の幾らか。

○委員長（内藤久歳君） 岩下係長。

○教育総務係長（岩下和也君） 教育委員の報酬でございますが、まず、委員長が30万円、職務代理者及び各委員が25万円でございます。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 平成24年度、25年度は今からですが、教育委員会の会議の開催ですが、何回くらい行われた経緯があるんでしょうか。教育全般にかかわる問題ですので、お答えください。

○委員長（内藤久歳君） 岩下係長。

○教育総務係長（岩下和也君） 教育委員会の開催状況ですが、平成24年度3月も含めて話を

させていただきますと、定例会が12回、臨時会が1回を開催しております。

○委員長（内藤久歳君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 続いて、審議の内容について教えてください。

○委員長（内藤久歳君） 岩下係長。

○教育総務係長（岩下和也君） 主な審議の内容でございますが、年度当初ですと、平成24年度の学校指導方針、生涯学習指導計画、スポーツ推進計画、都市間事業推進計画、小・中学校の評議員の委嘱についてなどを議題としております。

また、報告事項としては、総会教育事業の予定事業、実績について、あと、教育委員会関係にかかわります工事等の執行について、また、市議会定例会における教育委員会関係の一般質問、代表質問についてなどの報告をしております。

○委員長（内藤久歳君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 大きな問題になった暴力問題、それからいじめの問題、それから今後やろうとしている学力テストの、今回は政府は全国で6年生、中学3年生、全校にやらせるということで、今、波紋を呼んでいるんですが、こういった問題についての話し合いというのはされたんでしょうか。

これは、予算は中身が大事であって……。

○委員長（内藤久歳君） 市川部長。

○教育部長（市川孝嗣君） 定例の前の教育委員会、毎月1回ですね、月末に開催をお願いしているところでございますけれども、その中でも当然、学校が16校ございまして、いじめの問題あるいは体罰、学力向上ということで、昨年もいじめの対策、それとか学力向上ということで、県・国の学力調査の結果を受けて、今後、甲斐市としてどんなふうな取り組みをしていったらいいかというふうな内容も、当然教育委員会の中で検討を今、させていただいています。

また、いじめ対策につきましても、毎月毎月の学校のほうから上がってきました内容をつぶさに教育委員会のほうにも報告をして、適切な指導をいただいてというふうな内容でございます。

○委員長（内藤久歳君） ほかにございますか。

長谷部委員。

○委員（長谷部 集君） 双葉中のことでちょっと確認をしておきたいんですけども、今年度も5,000万円以上の予算をいただきまして、本当にありがとうございます。3年ぐらいの

年次計画で改修工事進めていただいているんですけども、今回のこの工事でおおむね学校からの要望というのは、大体整うのでしょうか。

○委員長（内藤久歳君） 奥野課長。

○教育総務課長（奥野経雄君） 双葉中学校でございますけれども、最終的に教室を三つふやしますので、27年度目標にやっておりますので、それが最後の改修になります。

○委員長（内藤久歳君） 長谷部委員。

○委員（長谷部 集君） 今回、技術科の倉庫設置とあるんですけども、技術科室自体は多分その工事ではいじらないと思うんですけども、これもかなり老朽化が進んでいて、学校からも要望出ていると思うんですけども、こちらは何か計画は入っているのでしょうか。

○委員長（内藤久歳君） 奥野課長。

○教育総務課長（奥野経雄君） 施設が教室等は手狭でいっぱいということで、北校舎と南校舎の間の空き地を利用して、そこに倉庫を設置する予定でございます。

○委員長（内藤久歳君） 長谷部委員。

○委員（長谷部 集君） 聞きたかったのは、技術科室自体の改修は計画にあるかということを知りたいんですけども。

○委員長（内藤久歳君） 奥野課長。

○教育総務課長（奥野経雄君） 電気器具類等の見直し、改修をやりましたけれども、具体的に教室を全体リニューアルはまだ計画しておりません。

○委員長（内藤久歳君） 長谷部委員。

○委員（長谷部 集君） 技術科室もかなりもう老朽化が進んでおりますので、また検討をしていただきたいと思います。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） ほかにございますか。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 1点ちょっと確認して整理しておきたいことがあるので、お聞きします。

さっきの嘱託・臨時含めた職員の数のことなんですけども、もう一回確認します。

まず、小学校の001、002で小・中学校、なべて減っているわけですね。その理由が、大体その業務委託の関係なのかなとは思いますが、例えば、小学校001の職員、昨年10人いたのが6人なんですけども、司書も3人から2人に減っているんですよ。あとは、調理員さんが

減ったと、退職してということで減ると。業務委託ならいいんですが。司書の場合はどうなるんですか。

○委員長（内藤久歳君） 岩下係長。

○教育総務係長（岩下和也君） ただいまの質問の小学校の司書、平成24年が3名だったのが平成25年が2名ということでございますが、そのとおりでございます。司書1人につきましては、長期的な病気でお休みをしております、予算は私たちの管理している予算ではなく、総務課の臨時のほうへその職員の予算はつけておりますので、人数的には減っておりますが、予算のほうはそちらのほうで管理をさせてもらっています。お願いします。

○委員長（内藤久歳君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） わかりました。

中学校ですが、やっぱり職員の数が6名から5名、この減り方の1名というのは、ここもやっぱりちゃんと何が減って補充されるかというのをちょっと聞きたいんです。

○委員長（内藤久歳君） 岩下係長。

○教育総務係長（岩下和也君） 中学校関係の職員の減員の1名につきましては、司書が2名から1名になっております。それですね、大変申しわけございませんが、多分退職じゃないかと思うんですが、すみません。訂正をさせていただきます。申しわけございません。わかりました。

中学校の司書につきましては、臨時のほうで1人雇うことになっておりますので、その正職のほうで1人減って、臨時のほうで1人ふえております。それで数が合うと思います。すみません。よろしくをお願いします。

○委員長（内藤久歳君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 臨職が13名が10になったということは、1名、臨職が司書が入っているわけですよね。そうすると、これはあれですか。給食の業務委託で減る分ですか、その4人というのは。

○委員長（内藤久歳君） 岩下係長。

○教育総務係長（岩下和也君） そのとおりでございます。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですね。

ほかにないですね。

[発言する者なし]

○委員長（内藤久歳君） 傍聴議員はよろしいですか。

[発言する者なし]

○委員長（内藤久歳君） 以上で教育総務費小学校費、中学校費及び基金のうち教育総務課所管事業についての審査を終了いたします。

ここで暫時休憩をいたします。

休憩 午前10時42分

再開 午前10時50分

○委員長（内藤久歳君） それでは、休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

説明、答弁については、簡潔にお願いいたします。

なお、当局の答弁に関しまして、聞き漏らしのないようにしっかり聞いておいて、それから先の質疑をお願いしたいというふうに思いますので、ご協力をお願いいたします。

それでは、学校教育課の所管事業のうち、第1項教育総務費、第2項小学校費、第3項中学校費について説明を求めます。

小林学校教育課長。

○学校教育課長（小林 修君） お疲れさまでございます。

学校教育課が所管する業務は、小・中学校16校、給食センター2カ所、幼稚園の事業になります。

それでは、予算参考資料の6ページをお願いいたします。

予算説明書は124、125ページになります。

10款教育費、1項教育総務費、2目事務局費、003市単独学校教育支援員等配置事業ですが、予算額は1億1,110万9,000円で、学校教育支援員33人、市単独教員2人、スクールサポートカウンセラー5人の人件費でございます。この事業につきましては、平成25年度から学校教育課で予算管理することとなります

次に、011学校庶務費ですが、予算額は4,538万7,000円で、市内の16校の学校運営に関する共通の事業費でございます。事業の概要ですが、就学時・定期健診関係は小学校への新入学予定児童の健診関係の費用と、教職員の健康管理に伴う経費でございます。

次に、給食関係経費ですが、児童・生徒、教職員の給食費の口座振替手数料等でございます。

次に、学校関係保険料はキャリア教育損害賠償保険等の掛金で、平成24年度と比較しまして、保険の種類を整理して予算を削減しております。

次に、学校関係負担金ですが、法令外負担金等でございます。

次に、学校関係補助金ですが、校外活動等補助金、PTA親子安全会掛金、芸術鑑賞等に対する補助でございます。

次に、創甲斐教育推進事業は、英語ふれあい教室や事業における新聞活用の推進事業など14事業を実施し、それに係る講師謝礼や消耗品等の経費でございます。

次に、その他庶務関係等ですが、小・中学校の市の事務消耗品、16校のAEDリース料等の経費でございます。

次に、012外国籍児童支援事業ですが、外国籍の児童・生徒や保護者に対し、入学手続きや学校紹介をするための通訳が必要な場合の報酬費でございます。

次に、1項教育総務費、3目外国人講師招致事業ですが、小・中学校に配置している英語指導助手の経費で、002外国人講師嘱託、臨時職員費予算額の1,654万円は、嘱託ALT4人の報酬・共済費でございます。

次の010外国人講師招致事業、予算額2,420万4,000円ですが、ALTの7人分の委託料でございます。25年度は嘱託を1名増員し、その分、委託を1名減らす予定でございます。

続きまして、7ページをお願いいたします。

予算説明書は126、127ページからになります。

2項小学校費、2目教育振興費、001から011の各小学校費、予算額1億3,623万1,000円ですが、財源内訳の国県支出金は要保護等児童援助費補助金等でございます。事業の概要は各小学校教育振興費としまして、市内10校分の教材用消耗品や備品などの経費でございます。平成24年度と比較して、教科指導資料等の購入費が減っております。

次に、各小学校就学援助奨励費は、生活が困窮している世帯に対して学用品、校外活動費、給食費等を援助する経費でございます。対象者の内訳は記載のとおりで合計429名でございます。

次に、各小学校コンピューター管理費は、11校のパソコン教室の保守委託料、リース料、消耗品費等でございます。

続きまして、2項小学校費、3目学校保健費、001小学校保健衛生費予算額2,392万6,000円ですが、小学校11校の学校医の年間報酬、健診委託料、災害共済掛金負担金等の経費でございます。

8ページをお願いいたします。

2項小学校費、4目峡中地区ことばの教室設置費ですが、予算額は232万円で、財源内訳のその他はことばの教室共同設置費負担金で、峡中地区の市町村の負担金でございます。竜王南小学校に設置しております、言葉に障害を持つ児童等に指導を行っており、授業費や光熱水費や教材用図書の購入費等でございます。

次に、3項中学校費、2目教育振興費ですが、予算説明書のほうは132、133ページになります。

001から005の各中学校費ですが、予算額は1億1,305万6,000円で、財源内訳の国県支出金は要保護就学援助費補助金等でございます。事業の概要は、各中学校教育振興費が市内の中学校の教材用消耗品や備品などの経費でございます。平成24年度に教科書の改訂がありましたので、平成25年度は、その分の予算は減額となっております。

次の各中学校就学援助奨励費は、生活が困窮している世帯に対しまして、学用品、校外活動費、給食費等を援助する経費で、合計296人の援助費でございます。

次に、各中学校コンピューター管理費ですが、各中学校のパソコン教室の保守委託料、リース料、消耗品等の経費でございます。

9ページをお願いいたします。

3項中学校費、3目学校保健費、001中学校保健衛生費、予算額1,206万1,000円ですが、中学校5校の保健衛生に関係する経費で、学校医の年間報酬、健康診断の委託料等の経費でございます。

以上が事務教育費から中学校費まででございます。よろしくをお願いいたします。

○委員長（内藤久歳君） 説明が終わりました。

これより説明に対しての質疑を行います。

先に所管の委員の質疑を行います。

質疑ございますか。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 小学校、中学校それぞれ就学援助奨励費なんですけど、このところ、かなりふえていると思うんですが、どんな動向か、わかれば。

○委員長（内藤久歳君） 小林課長。

○学校教育課長（小林 修君） 就学援助費の対象者数ですけれども、平成23年度が、要保護が32名、準要保護が679名でした。24年度の見込みとしましては、要保護が36名、準要保護

が672名でございます。今回の予算は要保護が7名、準要保護が660名を見込んでおります。

以上でございます。

○委員長（内藤久歳君） 小林課長。

○学校教育課長（小林 修君） 要保護の場合は三十何名でしたけれども、予算的には、これから申請が来るわけございまして、見込みとしては36名というのは要保護の対象者でありまして、要保護のうち、実際に予算化する場合は要保護の場合のうちの修学旅行とか、そういった場合の方だけを対象にしますので、修学旅行というのは小学校6年生とか、そういった方に限定されますので、予算化する場合は7名ということで予算化しております。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

ほかにございますか。

有泉委員。

○委員（有泉庸一郎君） 今の就学援助奨励費のところですが、小学校と中学校で人数的には小学校の校数も多いから多いんでしょうけれども、この違いというのはほとんど一緒ぐらいですよ。中学校と小学校と。総額だと2,700万円ぐらいですね、両方とも。そうすると、その違いというのは大きくなるとそれだけお金がかかると、そういう解釈でいいんですか。

○委員長（内藤久歳君） 小林課長。

○学校教育課長（小林 修君） 学用品とかで小学校は6,270円、中学校では1万6,270円、あと、修学旅行費とか学校給食費が若干違いますので、平均いたしますと、小学校で大体年間6万円、中学校で大体8万円というところでございます。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

ほかにございますか。

〔発言する者なし〕

所管の委員の質疑を終了します。

続きまして、所管以外の質疑を受けます。

ございますか。

山本委員。

○委員（山本英俊君） すみません、教えてください。

6ページの011、3番目の学校関係保険料関係ですか、何か今、無駄を削減して、補強整理して削減を図ったということですがけれども、ちょっとその無駄の整理というか、補強整理したということ、内容を教えていただけますか。

○委員長（内藤久歳君） 小林課長。

○学校教育課長（小林 修君） 保険の中に校外行事参加傷害保険というのがありまして、その保険が240万円ほどありました。ただ、その保険は、ほかにもたくさん保険があるんですけども、そういうところとダブっていた部分がありますので、ダブっていた部分は整理しまして、先ほど申し上げました校外行事参加傷害保険を削減させていただきました。

○委員長（内藤久歳君） 山本委員。

○委員（山本英俊君） すみません、もう一回、金額が240万円ほど減っていましたが、それだけ削減されて何かほかに影響がないのかなと思って、その辺を確認したいと思ったんですけども、わかりました。ありがとうございました。

○委員長（内藤久歳君） 小林課長。

○学校教育課長（小林 修君） 削減した校外行事参加者傷害保険は、校外行事の参加者に対して、死亡とか傷害に対して保険の対象になります。別の保険としまして、災害共済給付とか、それからキャリア教育生涯保険とか、それからPTA親子安全会というのに入っています。そういうところと重複するところがありましたので、そういうところを精査して削減したということでございます。

○委員長（内藤久歳君） 小林課長。

○学校教育課長（小林 修君） 申しわけありません。

補償の内容は参加者傷害保険ですので、傷害の内容ですので変わりはありません。

○委員（山本英俊君） 要は無駄をなくしたいということですね、わかりました。ありがとうございました。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

ほかにございますか。

三浦委員。

○委員（三浦進吾君） すみません。7ページの各小学校費の中で下のほうにありますリース料、このリース料はどんなふうな機械が、例えば学校単位にあるのか、大体の機種、ちょっとご説明をお願いしたいと思います。

○委員長（内藤久歳君） 小林課長。

○学校教育課長（小林 修君） 機種はちょっとわかりませんが、コンピューターを41台ずつ各学校に配置をしておりますので、そのリース料でございます。

○委員長（内藤久歳君） 三浦委員。

○委員（三浦進吾君） 今のコンピューターのリース料ということで、さっき別のご説明の中にも備品購入ということがあったんですけれども、例えばリース料で2,500万円払うと、さっきは90台購入ということでございますけれども、リースがいいのか購入がいいかということもございますけれども、そんなことで検討していることはあるかどうか、ちょっとお聞きしたいと思います。

○委員長（内藤久歳君） 飯室係長。

○学事係長（飯室 崇君） 今、コンピューターの関係でご質問いただいておりますけれども、これは各小学校に40台が児童・生徒用のもので、あと1台が教師用のもので、41台がコンピューター教室という教室の中に設置してあるパソコンでございます。

これは、昨年度全ての小・中学校全部入れかえをいたしました。そのときにリース契約を5年の長期契約で組んでおりますので、今回2年目というふうな形でリース料を払っていくということです。また、今後5年が過ぎたところで、じゃあそれを再度利用するのか、あるいはまた全部入れかえをするのかというふうなことを検討をしていくというふうな状況でございます。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） 三浦委員。

○委員（三浦進吾君） 部署が違うということで、あれでございますけれども、先ほど備品購入なんか学校ネットワーク、竜王中で90台ということで1,100万円を今回予算出ているわけです。その中で、今回リース料で2,500万円が出ると、5年契約とかということでございますけれども、今後その辺も踏まえて検討して、要望で結構ですけれども、また、購入とかさういうことも踏まえてお願いしたいということです。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） ほかにございますか。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 6ページの003なのですが、スクールサポートカウンセラーのことでお伺いします。

昨年3人が5人になって、人数が1校1名になったと思うんですけれども、内容的にこの間一般質問の回答の中で、市長さんのほうから、今まではその警察関係のOBの方だったんですけれども、それでそれを変えて違う形でというお話だったと思うんですが、その辺の経過を教えてくださいませんか。内容的にOBじゃなくて、どういうふうに変わっていくのか。また、

どうしてそういうふうに変えるのか。

○委員長（内藤久歳君） 小林課長。

○学校教育課長（小林 修君） スクールサポートカウンセラーの方は警察官のOBということとは変わりありません。ただ、体制としまして、今のところ5名を予定しております。各校に1名ずつかあるいは巡回してもらうということは、今検討中でございます。

○委員長（内藤久歳君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） そうしますと、変わらないということですか、体制。どこが変わるのか。1人じゃなくて2人体制になるということ、どういう……。

○委員長（内藤久歳君） 小林課長。

○学校教育課長（小林 修君） 人数が3人のところを5名を目標に今やっておるんですが、それとあと、体制が変わるといのはそのメンバーは変わります。直接、県警の紹介ではなくて、甲斐市のほうの雇用ということでございます。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 県警から直接お願いするのではなくて、甲斐市で民間で探すというようなことなんですか。

○委員長（内藤久歳君） 市川部長。

○教育部長（市川孝嗣君） S S Cにつきましては、先日も一般質問でも答弁をさせていただいたところです。今年度につきましても3名、新年度につきましても一応5名というふうな予算計上をさせていただきました。

運用の方法でございますけれども、今までにつきましては1校1名体制ということとずっとやってきましたけれども、ただ、果たしてそれがいいのかなのか。いわゆる2人1組で、それぞれの5校を時間を決めて巡回する方法とか、いろんな方法があるかと思えます。そういった内容の中で、どういった方法がいいのかなのか、今までの方法がどういった内容だったのかというふうなことも検証して、新年度に向けて、もう時間がありませんけれども、今現在、検討をしているということでございますので、新しい年度までには、うちのほうの方針を決定をしてまいりたいというふうに考えております。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

ほかにございますか。

長谷部委員。

○委員（長谷部 集君） すみません。6ページのALTについてちょっとお伺いしたんですけれども、今回委託を1人減らして嘱託に変えるということですが、委託より嘱託のほうがよかったということなんですか。その辺を教えてください。

○委員長（内藤久歳君） 小林課長。

○学校教育課長（小林 修君） 委託の場合は、直接校長とか教員が指揮とかというのはできないというのが原則になっています。ただ、嘱託の場合は直接雇用なので、その現場で指揮ということができるといってございます。

○委員長（内藤久歳君） 長谷部委員。

○委員（長谷部 集君） そうすると、今後は委託をやめて嘱託にしていくということなんですか。

○委員長（内藤久歳君） 市川部長。

○教育部長（市川孝嗣君） 今、担当課長が申しあげましたように、今まで第二次行革のほうでは、嘱託から民間のほうへ移行というようなことで逆行がされるんじゃないかというふうなご指摘もあろうかと思えますけれども、先ほど担当課長申しあげましたように、やはりいろいろ学校長のほうがこういうやりたいと言っても、やはりその派遣先の業者のほうに言わないとなかなかそれが通らないと。直接、指導ができないというふうな課題もありましたので、今後は徐々に中学校、個々については、いわゆる業者のほうからの派遣から嘱託に変えていきたいというふうに考えております。

また、それと、もう一点、新年度から創甲斐教育の新規事業としまして、小学校1年生から4年生までを公民館を会場にしまして、ふれあい英語教室という教室を週1回ずつ毎週土曜日に開催したいと考えております。そういった内容の中で、嘱託の職員であれば市の職員でございますので、その嘱託の職員を活用しながら、土曜日に1年生から4年生まで英語のふれあい教室を開催したいというふうな活用もしたいということでございます。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） 長谷部委員。

○委員（長谷部 集君） ここでちょっと聞いていいのかわからないんですけども、保育園で英語をやるということで、このALTが保育園にも行くということですか。

○委員長（内藤久歳君） 小林課長。

○学校教育課長（小林 修君） 25年度から保育園のほうへ、このALT、1人行く予定でございます。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

ほかにございますか。

池神委員。

○委員（池神哲子君） 同じく011学校庶務費のところ、前年度は中学生自学講座を設けて土曜日の午後にそういう講座があつて、今回はそれがあるのでしょうか。

○委員長（内藤久歳君） 小林課長。

○学校教育課長（小林 修君） 今回も24年度と同様、自学講座を開催する予定でございます。

○委員長（内藤久歳君） ほかにございますか。

清水委員。

○委員（清水正二君） 6ページ、2目のやっぱり011ですけれども、その他の庶務関係費の中で、先ほどAEDの購入とあつたんですけれども、各学校にどのくらい、何台くらいですかということと、一問一答だから、そこからいきますか、すみません。

○委員長（内藤久歳君） 小林課長。

○学校教育課長（小林 修君） 各学校に1台設置してございます。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

清水委員。

○委員（清水正二君） ことしの予算ということは、各学校に今までこれ、なかったということですか、1台ずつ。

○委員長（内藤久歳君） 小林課長。

○学校教育課長（小林 修君） リース料ということですので毎年です。ことしからではありません。

○委員長（内藤久歳君） 土屋係長。

○保険給食係長（土屋達巳君） AEDの設置については平成18年から設置しております。5年の長期契約でやっていますので、そのリース料になっております。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

清水委員。

○委員（清水正二君） 各学校に1台ということで、この間もあれやつたんですけれども、武道場なんかの場合だとそういう危険性があるということで、できれば、そこら辺のところの来年度から予算も検討してほしいと思いますけれども、いかがでしょうか。

○委員長（内藤久歳君） 小林課長。

○学校教育課長（小林 修君） 今のところ、各学校に1台設置しております、利用のほうは、まだゼロということでございます。その利用頻度によりまして検討したいと思っておりますけれども、今のところは各学校に1台ということでございます。

○委員長（内藤久歳君） 清水委員。

○委員（清水正二君） 今、利用頻度とあったんですけれども、こういうことが何回もあったらいけないんで、緊急のときにそれをやるということで、そういう利用頻度ということじゃなくて、仮にこの間もマラソンの中でもって、たまたま何万人の中に1人というのがあったんですけれども、そういうことに備えるのに武道場というか、そういうところだとそういう危険性があるのでどうかというふうなことを言ったんですけれども。

○委員長（内藤久歳君） 市川部長。

○教育部長（市川孝嗣君） AEDについては、いわゆる緊急性ということで、1分1秒たりとも許されないということですので、当然複数台あれば、それにこしたことはないということで、私たちも考えております。

そういった状況の中で、やはり予算のほうもリース代で年間五、六万円ぐらい、1台でするわけですが、そういった予算もかみ合わせた中で、今まで学校の職員室の中等に設置がされておりましたので、それならば1分1秒を争う緊急時に、それが果たして、普通の方が使用できるかというふうなことを考えまして、今年度予算で全てボックスを新しく変えまして、新しいボックスの中へ全ての学校が入れておくということと、もう一つは、学校の玄関のところにそのボックスを設置して社会体育の方々が利用される方もわかりやすいところへ設置したと。当然、それを鍵の袋があるわけでございますけれども、そういった袋の中にも設置場所等の図面も設置をするということで、当面は1台でいきたいというふうに考えております。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

清水委員。

○委員（清水正二君） わかりました。

それを移動するそのもの自体の費用というのが庶務関係費に入っているということですね。一応確認しておきます。

○委員長（内藤久歳君） 小林課長。

○学校教育課長（小林 修君） 移動する費用ということでよろしいでしょうか。24年に設置

をし直しましたので、ほとんど玄関とかそういうところに移動しました。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

ほかにございませんか。

坂本委員。

○委員（坂本一之君） 小学校、中学校のところで、コンピューター管理費ということでお話がありましたけれども、合わせて4,400万円ぐらいを使っているわけなんですけれども、これ実際としてですね、成果というか、そこら辺聞きたいんですが。

○委員長（内藤久歳君） 内藤指導監。

○指導監（内藤和彦君） 各学校では、パソコン教室の利用、各学年で、1年生ではこういうことができるように、卒業するときの6年生にはこういうことができるようにということを、マニュアルをつくりまして指導しているところです。実際には例えば修学旅行に行ったときに、それぞれカメラなんかで撮ってきたものを、旅行記をつくりますが、そのパソコン教室で自分なりのものをつくって、来年行く5年生に修学旅行のよさをアピールしようと。新聞づくりなんかとも兼ね備えた、一緒に指導計画を立ててやっているというようなことで、利用頻度は非常に高いのではないかというふうに認識しております。

○委員長（内藤久歳君） 坂本委員。

○委員（坂本一之君） IT化ということで避けられないことだと思いますので、こういうことは特に中学生なんかは、かなりコンピューターできる子供たちもいるかと思いますが、ある程度、検定じゃないですけども、そういうことが学校の中でも競ってできるような体制をつくれれば、これだけのお金、例えばリース料1,200万円かけてももとはとれるかと思えますので十分成果を上げるように頑張ってくださいと思います。

○委員長（内藤久歳君） 要望でいいですね。

ほかにございますか。

[発言する者なし]

○委員長（内藤久歳君） ないようですので、所管外の質疑を打ち切ります。

以上で委員の質疑を終わります。

次に、第4項学校給食費及び第5項幼稚園費について、説明を求めます。

小林学校教育課長。

○学校教育課長（小林 修君） 引き続き9ページをお願いいたします。

4項学校給食費、1目給食センター費になりますが、予算説明書は134、135ページからに

なります。

敷島給食センターは小・中4校分、双葉給食センターが小・中3校分の給食の提供しております。財源内訳のその他は小・中学校給食費でございます。001の給食センター関係職員費は、予算額が2,558万8,000円で、2カ所のセンターの正規職員4人分の人件費でございます。

次に、002給食センター関係嘱託、臨時職員費予算額6,065万1,000円につきましては、2カ所のセンターの臨時職員29人分の賃金等でございます。

次に、003給食センター運営費予算額2億3,160万9,000円は、2カ所のセンターの賄い材料と管理費でございます。

10ページをお願いいたします。

4項学校給食費、2目学校給食費、001学校給食費予算額2億1,854万7,000円ですが、財源内訳のその他は小・中学校給食費等でございます。事業の内容は、竜王地区の小・中学校9校の賄い材料費等、市内16校の備品や委託料等の給食運営費でございます。この運営費の中には、平成25年度から始まります竜王中学の調理業務の民間委託料の1,100万円を含んで予算化しております。

次に、5項幼稚園費、1目幼稚園費ですが、財源内訳の国県支出金は幼稚園就園奨励費補助金等で、その他は幼稚園授業料等でございます。

001の幼稚園関係職員費ですが、予算額は4,184万7,000円で、職員6人分の人件費でございます。

次に、003幼稚園等助成事業ですが、予算額は253万3,000円で、市内の5つの私立幼稚園に対しての運営費補助と災害共済掛金の補助金、それから私立幼稚園整備費補助金で、幼稚園のトイレの改修工事が1件ありますので、その経費に対する補助金でございます。

次に、004幼稚園維持運営費ですが、予算額は517万9,000円で、しきしま幼稚園の運営費として、事務消耗品や光熱水費、備品購入費等でございます。

次に、005幼稚園就園奨励費ですが、予算額は4,915万1,000円で、市内在住の園児が私立幼稚園に入園している場合の保護者の経済的負担を軽減するための補助金でございます。

11ページをお願いいたします。

5項幼稚園費、2目幼稚園保健費予算額47万9,000円ですが、しきしま幼稚園の保健費で、医師の報酬や園児等の健康診断等でございます。

以上が学校給食費と幼稚園費でございます。よろしく申し上げます。

○委員長（内藤久歳君） 小林課長。

○学校教育課長（小林 修君） 失礼いたしました。

5項幼稚園費、1目幼稚園費の中のその他財源ですけれども、幼稚園授業料、それから幼稚園バス使用料になります。国県支出金のほうが幼稚園就園奨励費補助金でございます。

○委員長（内藤久歳君） 説明が終わりました。

これより所管の委員の質疑を受けます。

質疑ございますか。

米山委員。

○委員（米山 昇君） 10ページの幼稚園の関係の経費の中の005の幼稚園就園奨励費補助金ですが、4,900万円ほど計上してありますけれども、平成24年度に比べて補助金の単価とかそれらの補助金の見直しがされたのでしょうか。

○委員長（内藤久歳君） 小林課長。

○学校教育課長（小林 修君） まだ、国のほうではっきりはしておりませんが、情報で、平均3,000円上がるということでございます。1番所得の多いところが1万2,000円ほど上がるという情報を得ております。

○委員長（内藤久歳君） 米山委員。

○委員（米山 昇君） 今、国のほうの見直し予側が説明されましたが、市のほうの国に対する割合ですね、今70%とかという形で補助されていますけれども、その割合とかは引き上げというようなことはされる予定でしょうか。

○委員長（内藤久歳君） 小林課長。

○学校教育課長（小林 修君） 市のほうの補助割合ですけれども、24年度に引き上げましたので、25年度はそのままの補助率70%で参加しております。

○委員長（内藤久歳君） 米山委員。

○委員（米山 昇君） そうすると、70%、率は変わらないということの説明でしたが、当然、国のほうの引き上げがなされれば、その分だけは上がるという理解でよろしいですね。

○委員長（内藤久歳君） 小林課長。

○学校教育課長（小林 修君） そのとおりでございまして、国に伴いまして上げる予定でございます。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

ほかにございますか。

猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） 同じく10ページで、学校給食費なんですけれども、先ほどの課長の説明の中で、市内の16校その他給食運営費の中で、昨年より予算がふえているということは、民間委託の関係、竜王中学のふえているということですね。この民間委託した関係で、要は人件費等は人事課の管轄になるのかな。この委託をされたことの反映というか、その辺はどのような解釈で受ければいいですかね。

○委員長（内藤久歳君） 小林課長。

○学校教育課長（小林 修君） 民間委託することによりまして民間のノウハウを得ることができるということですね、人の確保ができるということです。

予算的には、今回の場合は臨時職員ばかりでしたので、予算的にはマイナス180万円ほど負担がふえております。

ただ、臨時職員の中に1人でも正職員がいた場合は、それが逆転するという状況で、今回の場合は、民間委託することによって180万円ほど負担がふえております。

以上でございます。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） ちょっと簡単に考えると、民間委託をしたということは、要は経費は削減に行くのかなと解釈はあるんですよね。要は人件費の問題、人の確保が大変だからということが一つのうたい文句であって、あと、来年か再来年になれば何らかの数字的な結果が出てくると思うんですよ。要は民間委託した結果は、今の数字よりは減るということを前提に考えていくべきだということを思いますけれども、いかがでしょうかね。この先の話で。

○委員長（内藤久歳君） 市川部長。

○教育部長（市川孝嗣君） 今、担当課長が申しあげましたように、今年度、竜中の場合は現在臨時職員が4名ということで、結果的に申しあげますと180万円ほどがいわゆる増になったということなんですけれども、基本的なことを申しあげますと、甲斐市が今やっております臨時職員ばかりのいわゆる給食室があつていいかどうかということが、いわゆる根本的な問題だろうと。やはりその中に当然正職員がいて、それを補う臨時職員がいるという内容が通常じゃないかというわけでございます。

そういった中で、基本的なことで、じゃ、正職員を採用すればというふうなことになると思いますと、やはり予算的な問題もありますので、そういうことであれば、人材の確保より高度な

調理業務というふうな内容からしまして、業務委託を選択したということでございますので、必ずしも今やっている内容が今後人件費の減につながるかということになりますと、やはり臨時職員が多い市町村、いわゆる甲斐市については減につながるかどうかは、今のところ未知数だということで、今回の場合は逆に増になってしまったというふうな結果でございます。

○委員長（内藤久歳君） 猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） これ一般質問の答弁で聞いたのかな。今後ね、たまたま竜王中学は給食室を建てかえたという解釈で民間委託ということになっていますよね。これ学校給食方式の場合は、自校方式ですね、今後はどういう考え方でいくのか。今、既存の給食室を民間に委託していくという考え方に将来的にはあるのか、どうなのか。どうですかね。

○委員長（内藤久歳君） 市川部長。

○教育部長（市川孝嗣君） この辺につきましては、先日の一般質問でもお答えをさせていただいたわけでございますけれども、今回竜王中学校、新しく改築をさせていただきまして、まずは試行的に業務委託を外部にしていこうと。25年度、1年間検証させていただいて、その中で26、27年度からいいかどうかというふうな判断をする材料として、試行的にするわけでございますけれども、現在、業務委託する条件としましては、当然ドライ方式でないともまずいということでございますので、当然、今現在ドライ方式でやっている給食室につきましては、竜王小、それから玉小、25年度に新築というか改築をする竜王北小、その3カ所がありますので、25年度で1年間、竜王中の業務委託を検証しながら、そちらがいいかどうかというふうな今後判断をしてまいるということでございます。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

ほかに所管でございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（内藤久歳君） ないですね。

所管の質疑を終了いたします。

続きまして、所管以外の委員の質疑を受けます。

何かございますか。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 昨年予算委員会の際に、災害時に敷島の給食センターを使えるという話を聞きました。それでだんだん、例えば自校式のところも民間委託していったときに、ドライ方式とか、この災害時にもそういった業者委託しているところと提携結んで、何らか

のそういった災害時のときもやっていただけるような契約みたいなのはしているのでしょうか。

○委員長（内藤久歳君） 小林課長。

○学校教育課長（小林 修君） 業者の中で提案で、そういう対策も入っておりますので、万全の体制だと考えております。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） また、違うことなんですけど、先ほど幼稚園の就園奨励費という話が出ましたが、私も何度か国基準にということで、ずっと市町村を持っているという話を聞いていますけれども、この国基準までにどのくらいかということを知りたいんですが、先ほど24年上げたところなのに25年は変わらないと。ただ、国のほうで平均3,000円上がったり、収入の上の人が1万2,000円払う話がありましたが、こうしたことを入れると、大体国基準の何割になるのか。入れて7割ですか。

○委員長（内藤久歳君） 小林課長。

○学校教育課長（小林 修君） 含めて7割でございます。

○委員長（内藤久歳君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） なかなか道厳しいなと思いますけれども、あきらめないでぜひ国基準までのものは、その目標は絶対なくさないようにして、さらにお願ひしたいと思います。

○委員長（内藤久歳君） ほかにございますか。

樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 10ページの003幼稚園等助成事業でありますけれども、この項目はわかりませんが、特に私立の幼稚園の耐震調査、そういったものについてはどういう対応されているのか、お伺いしたいと思うんですけれども。

○委員長（内藤久歳君） 飯室係長。

○学事係長（飯室 崇君） この003の助成事業でございますけれども、これは市内に五つの私立の幼稚園がございます。その幼稚園につきまして1番上でございますのが、運営費の補助金ということで1人頭1,200円で人数分を交付しております。災害共済の掛金補助金といいますのは、その下で整備費補助金でございますけれども、それにつきましては、先ほど言いました五つの私立幼稚園で改修工事あるいは安全柵をつくる、あるいは屋根の塗装を塗りかえる等の整備をするような場合につきましては、50万円以上の補助金額を下限にしまして、

それ以上の工事につきましては市のほうで3分の1の補助金を交付するというふうな要綱がございます。ですから、耐震にするかどうかというのは、その私立の幼稚園の考え方でございますので、もし、そういった工事のものが出来まいますと、助成金を交付するというふうな形をとらなければならないかなと考えております。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） この問題をちょっと私が質問したのは、けさの山日にもでかか出ていました南海の大地震、これは私立であろうが公立であろうが、将来開所させた数、子供たちですよね、これに災害でえらい被害者が出たというようなことあってはならないので、やはり行政側としても幼稚園の耐震化が今どういう状況になっているかと。公立を含めてきちんとやっぱり調査する必要があるんじゃないかということでお伺いしております。教育部長さん……。

○委員長（内藤久歳君） 市川教育部長。

○教育部長（市川孝嗣君） 先ほど担当係長が申し上げましたように、この整備費の補助金につきましては、要綱で、幼稚園のほうでトイレ改修したりとか耐震の改修をしたいというふうな要望があった場合、うちのほうの要綱で3分の1の補助金を出すということです。今おっしゃられたことは当然、耐震ということでございますので、うちのほうで、また5園につきましては耐震の調査をされているのか、耐震の結果がどうなのかというような調査を改めて、また担当のほうから検証、検討をしていきたいというふうに考えていますけれども、最終的にはその調査をもとに、やはり実施自体は私立の幼稚園さんでございまして、そちらのほうで改修したいということであれば、要綱では3分の1の補助金を出すということになります。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですね。

ほかにはございませんね。

[発言する者なし]

○委員長（内藤久歳君） 以上で学校教育課の所管事業のうち、第1項教育総務費から第5項幼稚園費についての審査を終了します。

ここで暫時休憩し、職員の入替えを行います。

休憩 午前 11時37分

再開 午前 11時39分

○委員長（内藤久歳君） それでは、会議を再開いたします。

説明、答弁については簡潔にお願いいたします。

次に、生涯学習文化課及び図書館より、第6項社会教育費について一括で説明を求めます。

藤本生涯学習文化課長。

○生涯学習文化課長（藤本さゆり君） こんにちは。

それでは、平成25年度の生涯学習文化課の予算について、説明をさせていただきます。

予算説明書は138ページからになります。

予算審議資料11ページ、予算参考資料は12ページになります。

社会教育総務費については、全体で8,900万4,000円を計上させていただき、前年度と比較しますと1,122万1,000円の増額になっております。主な増額の理由については、昨年度まで文化財保護費に入っておりました文化財調査員の目の変更による報酬と、国民文化祭実行委員会等の補助金でございます。

それでは、社会教育費の社会教育総務費を事業別に説明させていただきます。

001社会教育関係職員費6,016万1,000円、これにつきましては生涯学習文化課の職員7人の給料、職員手当、共済費でございます。002社会教育関係嘱託、臨時職員費318万7,000円、文化財調査員1人の賃金、社会保険料でございます。

続きまして、010社会教育総務費2,203万3,000円ですが、内容につきましては社会教育委員報酬15人と、青少年育成推進員114人の年間の報酬で164万円、心のホットライン事業7万8,000円、社会教育事業関連経費16万6,000円、諸協議会等負担金13万5,000円、これについては、県の青少年育成カウンセラー等の負担金でございます。

次に、補助金の関係ですが、全体で2,001万4,000円、内訳ですが、甲斐市文化協会補助金209万円、青少年育成甲斐市民会議144万3,000円、各地区民会議ですが、竜王地区が348万円、敷島地区が256万8,000円、双葉地区が206万3,000円、甲斐市国民文化祭実行委員会837万円でございます。国民文化祭については、甲斐市では8月11日の朗読フェスティバル、子供の部を初めとし、9月8日の朗読一般の部、9月22日朗読劇、9月29日ダンススポーツフェスティバル、10月27日創作ミュージカル、11月3日の小学生吹奏楽フェスティバルまでの6回

が開催されます。

また、詳細等ができましたら議会に報告をさせていただきますので、議員の皆様にもご来場をよろしくお願いいたします。

続きまして、011の生涯学習推進事業362万3,000円、内容につきましては、成人式開催事業148万1,000円、これについては、成人者への記念品、会場借り上げ料等であります。講座開催講師謝礼93万4,000円につきましては、パソコン教室、青少年教育等の講師謝礼でございます。パソコンのレンタル料3回10万5,000円、その他子ども情報誌発行事業23万5,000円、生涯学習推進事業関連経費57万8,000円でございます。

続きまして、2公民館費、予算説明書は140ページから、予算参考資料は13ページからとなります。

公民館費全体で8,290万5,000円を計上させていただきます、前年度比較については9,135万8,000円の減額となります。主に竜王南部公民館、双葉公民館の改修工事が終了したためでございます。

それでは、公民館費を事業別に説明させていただきます。

公民館の001公民館関係職員費1,640万1,000円、公民館職員2人の給料、職員手当、共済費でございます。

続きまして、002公民館関係嘱託職員費2,166万9,000円、嘱託職員の館長、社会教育指導員、カウンセラー計11人の賃金、社会保険料でございます。

続きまして、010公民館庶務費559万5,000円、内容につきましては、公民館運営審議会委員報酬15人の報酬18万1,000円、週15時間30分の勤務の館長の報酬336万円、公民館庶務関連経費20万4,000円、除雪対策事業、什器の借り上げ15万円、補助金170万円は各公民館及び各地域ふれあい館まつり実行委員会でございます。

続きまして、011竜王北部公民館管理運営費907万6,000円、財源内訳のその他財源については、竜王北部公民館から次のページの双葉公民館まで各公民館とも共通ですが、公民館使用料と一部公衆電話の使用料であります。

戻りまして、北部公民館の内容ですが、ふれあい講座講師謝礼60万円と、公民館管理運営費847万6,000円でございます。

続きまして、012竜王中部公民館管理運営費599万円、これについては、ふれあい講座講師謝礼60万円と、公民館管理経費等539万円でございます。

続きまして、013竜王南部公民館管理運営費939万3,000円、南部公民館の内容については、

ふれあい講座講師謝礼60万円、公民館管理経費等879万3,000円でございます。

続きまして、014敷島公民館管理運営費85万7,000円、ふれあい講座講師謝礼60万円と、公民館管理事業費25万7,000円でございます。

予算参考資料14ページに移りまして、015地域ふれあい館管理運営費464万円、吉沢、睦沢、清川の3館のふれあい講座講師謝礼24万円、3館の管理経理費440万円でございます。

続きまして、016双葉公民館管理運営費928万4,000円、ふれあい講座講師謝礼60万円、公民館管理事業費868万4,000円でございます。

続きまして、3文化会館費、予算説明書142ページ、143ページ、予算参考資料同じく14ページになります。

3文化会館費、文化会館費全体で8,581万2,000円を計上させていただき、前年度比較については、1,080万円の増額になっております。主な増額の理由については、敷島総合文化会館、双葉ふれあい文化館のトイレ改修工事等の増でございます。

それでは、文化会館費を事業別に説明させていただきます。

001敷島総合文化会館管理運営費2,734万3,000円、財源内訳のその他財源ですが、会館の使用料でございます。内容については、総合文化会館管理事業費等2,525万9,000円、トイレの改修工事208万4,000円でございます。

続きまして、双葉ふれあい文化館管理運営費5,846万9,000円、財源内訳のその他財源であります。文化館の電気使用料です。双葉ふれあい文化館については、平成20年度より指定管理に移行しておりまして、指定管理委託料3,817万6,000円、文化会館管理事業費、電気料と修繕料ですが950万円、タイル張りの10年以上の建物について調査が来ておりますので、外壁タイル調査委託費256万円、トイレ改修工事等549万6,000円、メインの音響卓の交換で273万7,000円でございます。

続きまして、4文化財保護費、予算説明書は142ページになります。予算参考資料は15ページになります。

4文化財保護費全体で1,810万5,000円を計上させていただき、前年度比較については、1,154万1,000円の減額になっております。主な理由については、都市計画道路田富町敷島線道路の現場発掘の終了と文化財調査員の報酬について、目の変更による減でございます。

それでは、4文化財保護費を事業別に説明させていただきます。

001歴史民俗資料館等文化財施設管理運営費52万5,000円、内容については、資料館資料整備作業の賃金でございます。9万8,000円。光熱水費の施設管理経費が42万7,000円ござい

ます。

続きまして、002文化財保護事業費626万1,000円、財源内訳は国県支出金110万円については、県からの文化財保護条例に伴う事務委託金でございます。内容については、文化財保護審議委員の報酬5人で9万2,000円、歴史講座の講師謝金7万2,000円、史跡維持管理費59万9,000円、文化財保護事務費31万4,000円、これについては事務消耗品、修繕料、通信運搬費等でございます。指定文化財説明板設置事業93万6,000円については、指定文化財5カ所の設置工事になります。指定文化財補助事業97万4,000円については、市指定無形文化財の弁償等の補助金7件と慈照寺消火水槽補修の補助金になります。文化財展示ケース購入費71万9,000円は、甲斐市でも発掘により縄文土器や、県内でもまれな出土品が出てきておりますので、多くの住民に見ていただけるよう移動式のケースを購入して、展示を考えております。文化財情報管理システム業務委託費255万5,000円については、文化財情報管理システムWindows X Pサポートの終了に伴い、リプレース業務委託とパソコン本体の備品購入となっております。

続きまして、003文化財調査事業費1,131万9,000円、財源内訳ですが、国県支出金346万2,000円については、国と県からの埋蔵文化財調査事業補助金であります。その他財源の603万1,000円は、県道の発掘調査に伴う県からの負担金と民間の開発に係る文化財調査負担金であります。内容については、埋蔵文化財調査事業1,131万9,000円、これについては市内発掘事業等に伴う埋蔵文化財の確認調査と、都市計画道路田富町敷島線道路改良に伴う金の尾遺跡第8・9次の発掘調査の整理分析を行い、報告書の作成でございます。

以上で生涯学習文化課の予算の説明を終わらせていただきます。よろしく願いいたします。

○委員長（内藤久歳君） 湯本図書館長。

○図書館長（湯本和仁君） それでは、引き続きまして第5目図書館費について説明いたします。

予算説明書は144ページから147ページ、参考資料につきましては19ページになりますので、お願いいたします。

当初予算額として1億6,721万5,000円を計上させていただきました。

それでは、参考資料をもとに事業ごとに説明いたします。

001図書館関係職員費につきましては、竜王、敷島、双葉3館職員の10人分の人件費です。昨年より1名減ではありますが、昨年度は平成23年9月から3月まで傷病休暇から復帰した一

般職員を双葉図書館に配置した関係のためです。いずれの年度も4月1日現在の人数は10人です。

002図書館関係嘱託、臨時職員費につきましては、同じく3館臨時職員9人分の人件費です。

010図書館総務費につきましては、図書館協議会委員の報酬、パート職員の賃金、職員の研修旅費、その他3館共通の印刷製本費等です。

011図書館施設管理事業につきましては、3館の施設管理に関する予算となっています。3館の施設とも、既に開館より16年以上を経過しているため、施設管理上、修繕などが年々必要になっておりますので、緊急性や安全性と利用者サービスを考え、順次対応しているものです。主な修繕といたしましては、竜王図書館ではトイレのウォシュレット化の推進、施設の経年劣化の原因による空調設備の改修、双葉図書館では、空調の吹き出し口の増設などを予定しています。なお、竜王図書館は独立館になっておりますので、竜王図書館分として上下水道料、電気料、清掃委託料、施設警備委託料、各種保守管理委託料等の計上も、この中にされております。その他財源の2万円といたしまして、竜王図書館の使用料が充当されております。

012図書館資料購入事業につきましては、3館の図書雑誌、視聴覚資料等の購入費及び図書データ作成の委託料となっています。3館の収蔵能力を考慮して、新刊本の選定や利用者のリクエストにも配慮しながら購入しております。その他財源の1,260万8,000円につきましては、山梨県市町村振興協会市町村交付金が充当されております。

013図書館事業はブックスタート事業、子供向けお話会、朗読会、上映会の定例事業及び施設に応じた各種イベントの事業費となっております。

014図書館業務電算事業につきましては、図書館業務を行うためのシステム維持に係る消耗品、保守委託料の経費です。このシステムにつきましては、公共図書館と学校図書館の全資料データを竜王図書館にあるサーバで管理いたしまして、総合データベースとして甲斐市図書館情報ネットワークが構築されております。それにより公共学校の貯蔵資料が全て把握でき、資料検索や予約、貸し出しがすぐに処理できるシステムとなっております。

016と020、また030の図書館運営費につきましては、竜王、敷島、双葉のそれぞれの図書館の運営費でありまして、消耗品代、コピーの借り上げ料などの経常経費です。その他財源につきましては、3館とも利用者カード再交付手数料や図書館資料複写手数料、図書館の資料の弁償費、古本市の売り上げ分として、それぞれ充当されております。

以上で説明を終わります。よろしくご審議をお願いいたします。

○委員長（内藤久歳君） 説明が終わりました。

ここで暫時休憩し、午後の開会は1時15分からといたします。

よろしくをお願いします。

休憩 午前11時56分

再開 午後 1時13分

○委員長（内藤久歳君） それでは、休憩前に引き続き、会議を再開します。

これより説明に対して、質疑を行います。

先に所管の委員の質疑を行います。

質疑はございますか。

[発言する者なし]

○委員長（内藤久歳君） ないですか。

よろしいですか。冗談はともかく……。

米山委員。

○委員（米山 昇君） 12ページの生涯学習総務費の中で010社会教育総務費で、市の補助金2,000万円ほどありますが、先ほど説明あったかどうかちょっと記憶にないんですが、それぞれの補助金のところの内訳を、国民文化祭なんかはかなり細かく言いましたが、一体この中で幾ら、内訳をちょっと教えて、この四つの。

○委員長（内藤久歳君） 藤本課長。

○生涯学習文化課長（藤本さゆり君） 全体では2,001万4,000円ですが、文化協会が209万円、市民会議が144万3,000円、国民文化祭が837万円です。

ごめんなさい。地区民会議が、竜王地区が348万円、敷島地区が256万8,000円、双葉地区が206万3,000円です。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） 米山委員。

○委員（米山 昇君） 文化祭が837万円ね。

文化祭はことし初めてですので、この金額はふえたと思いますが、ほかはいかがでしょう

か。前年に比べて増減はありますか。

○委員長（内藤久歳君） 藤本課長。

○生涯学習文化課長（藤本さゆり君） 同額でございます。

○委員長（内藤久歳君） 米山委員。

○委員（米山 昇君） それじゃ、もう一つ。

その下の011の先ほど他人の子もほめて叱る運動だけ、ちょっと説明がなかったもので、どんな内容で、市長もかなりこれに力を入れてやっているようですが、29万円の予算が計上してありますけれども、どういう内容をする予定なのか。

○委員長（内藤久歳君） 樋口係長。

○生涯学習係長（樋口 充君） 計上させていただきました29万円の内訳ですけれども、啓蒙品ということで、うちわの印刷を考えてございます。そちらが14万円。あと、後援会費を15万円ということで考えております。

○委員長（内藤久歳君） 米山委員。

○委員（米山 昇君） うちわが幾らとかと言いましたが、その他人の子もほめて叱る運動とうちわはどういう因果関係がありますか。

○委員長（内藤久歳君） 樋口係長。

○生涯学習係長（樋口 充君） 24年度につきましては、啓蒙品ということで、ティッシュをつくって駅等でお配りいたしました。25年度につきましては、ティッシュもあれなんですけれども、今度うちわがちょっと夏をイメージして、夏のうちわのほうを印刷して、また街頭でお配りをしたいと考えております。

○委員長（内藤久歳君） 米山委員。

○委員（米山 昇君） 啓蒙品ということですね。わかりました。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

ほかにございますか。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 1番最後19ページの図書館ですが、010のパート職員賃金ですが、勤務形態と人数を簡単に結構ですので……。

○委員長（内藤久歳君） 湯本館長。

○図書館長（湯本和仁君） パート職員の数は現在30名が登録されており、前年と変わっておりません。パート職員は常時出勤しているわけではありませんで、職員が有給休暇のときと

か、休日の職員が半数が休むときの補充、あとは夕方の5時15分以降の時間外、そういったときにパート職員を雇用しております。時間的に不規則なものもありますので、週20時間で1カ月80時間以内ということで勤務していただいております。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） 松井委員。

○委員（松井 豊君） 図書館の利用状況、それから貸し出し状況など、昨年と比べてどうか。参考で結構です。

○委員長（内藤久歳君） 湯本館長。

○図書館長（湯本和仁君） 2月末現在でございます。3館の合計でありますけれども、延べ52万6,512名。24年度は51万6,612名。23年度は2月末現在で51万8,245名ということですので、8,367名ほどふえております。これが入館者数でありまして、利用者人数におきましては、24年度は19万7,773名、23年度におきましては19万5,618名ということで、2,154名ふえております。

あと、貸し出しの冊数でございますけれども、3館で24年度は69万61冊、23年度におきましては67万3,625冊でありまして、そこも若干ふえております。

以上でございます。

○委員長（内藤久歳君） いいですか。

ほかにございますか。

有泉委員。

○委員（有泉庸一郎君） 12ページの先ほどの010の社会教育総務費の中の甲斐市の国民文化祭の実行委員会837万円予算計上しているということですが、実行委員会があつて、これ先ほどの説明ですと、6カ所というか、六つのことを甲斐市ではやるようですが、この辺の実行委員会の状況は、もうかなり活動の状況がわかっただら、ちょっと簡単に説明をしていただければ。

○委員長（内藤久歳君） 樋口係長。

○生涯学習係長（樋口 充君） まず、母体となる実行委員会がございます。その下に企画委員会、各事業ごとに4事業ございますけれども、企画委員会を設けております。その4事業の企画委員会のほうで、今、プログラム等をだんだん煮詰めてきております。今までの募集の内容をお知らせいたしますと、朗読フェスティバルにつきましては、県外1組を含めまして県内が21組、合計242名の方が今募集をしていただいているところでございます。

ダンススポーツにつきましては、県外が11団体、県内が1団体で、計206名おります。

創作ミュージカルにつきましては、県外が2団体、県内2団体で合計で140名。小学生フェスティバルにつきましては、県外が2団体、県内2団体で、今190名ほどの出演の人数になっております。

○委員長（内藤久歳君） 有泉委員。

○委員（有泉庸一郎君） 今せっかく皆さん活動されているということですので、ぜひ、せっかくやることですから、予算もこれだけつけてやるわけですから、成功裏に終わるようにご尽力いただければなと思います。よろしくお願いします。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

ほかにございますか。

名取委員。

○委員（名取國士君） 19ページ、011ですけれども、双葉図書館空調吹き出し口増設工事のちょっと内訳。

○委員長（内藤久歳君） 湯本館長。

○図書館長（湯本和仁君） 双葉の図書館の空調吹き出し口ですね、こちらにつきましては、双葉図書館のちょっと東側の窓を庭の付近、夏に非常に温度が上昇するというので、何名かの方から申し出、苦情とか来ておまして、設計士の方をお願いをして空調設備のほうを見ていただいたところ、その壁面に吹き出し口を5カ所ほどつければ、東側の面も非常に温度のほう下がっていくのではないかと。それで、北側の読書室のほうか、かえって今まで夏の場合冷え過ぎておりましたので、ちょうど空気の循環のほうもよくなって効率のいい方法ではないかということで、相談をした結果、東側のちょうど窓際に5カ所つけるという、このような工事を来年実施する予定であります。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） 名取委員。

○委員（名取國士君） それ5カ所でどのくらいの金額ですか。

○委員長（内藤久歳君） 湯本館長。

○図書館長（湯本和仁君） 5カ所で95万8,000円です。

○委員長（内藤久歳君） 名取委員。

○委員（名取國士君） 約100万円ですか。それは天井裏へダクトで持って行って吹き出し口をつけたということですか。

○委員長（内藤久歳君） 湯本館長。

○図書館長（湯本和仁君） おっしゃるとおり、天井から吹き出し口をつける、その方法であります。

○委員長（内藤久歳君） 名取委員。

○委員（名取國土君） 前のほう、北側のやつは要するに撤去というか、塞いじゃったんですか。それも入っているんですか。

○委員長（内藤久歳君） 湯本館長。

○図書館長（湯本和仁君） 吹き出し口の増設ですので、北側の吹き出し口はそのままでございます。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

ほかに所管でございませうか。

猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） 12ページの010の先ほど米山議員の質問にありました市の補助金についてなんですけれども、この青少年育成甲斐市民会議と、そして青少年育成甲斐市民地区民会議、これ同額で推移していると聞いたんですけれども、このあり方というのは、この市民会議と地区民会議の違いというのはどんなような形なんですか。

○委員長（内藤久歳君） 藤本課長。

○生涯学習文化課長（藤本さゆり君） 地区民会議とは、今まで9町自体の育成会員のまとまった会議になっておりますが、それが甲斐市で今度1本化されて、甲斐市の市民会議、いろんな団体が入っているものでございます。今、ちょっと市民会議と地区民会議のあり方について、いろいろと考えている最中でございます。1本化して、その核に地区民会議を置こうかという形になっております。

○委員長（内藤久歳君） 猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） そこを聞いたかったんですね。恐らく意見交換をされて、今までのあり方がそのままいいのかどうなのかという話が出ていると思うんですよ。重複する点があるかと思うということをちょっとここに感じたんですけれどもね。その辺は十分今後よく検討していただいて、残すべきは残して充実してもらいたいし、それで改革するものは改革していただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○委員長（内藤久歳君） ほかにございませうか。

[発言する者なし]

○委員長（内藤久歳君） 所管よろしいですか。

[発言する者なし]

○委員長（内藤久歳君） ないようですので、所管の質疑を打ち切ります。

続きまして、所管以外の質疑を行います。

質疑はございますか。

樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 15ページの文化財保護費であります。002の文化財保護事業について若干お聞きしたいと思うんですけども、平成23年から25年にかけて、25年は今からですが、文化財に指定されたものが何かあったのでしょうか。また、指定の予定なんかはあるのでしょうか。

○委員長（内藤久歳君） 新津係長。

○文化財係長（新津 誠君） 現状はございません。今現在、できるようなものはありません。

○委員長（内藤久歳君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 現在ある指定文化財の展示ですけれども、展示用のケースの購入とありますが、先ほどの説明だと、どこでも気軽に文化財を見ていただけるようなそういう会場に持ち運びをする、そのための文化財を入れて持ち歩くというように聞いたんですが、そうですか。

○委員長（内藤久歳君） 藤本課長。

○生涯学習文化課長（藤本さゆり君） 展示ケースを入れてということは、現在指定のものもありますが、そうでなく、まだ指定に入っていない発掘したものがたくさんいいものがございます。縄文式土器とかそういうものについて、たくさんあるんですけども、市民はまだ、どういうものが出されているかというのを知らない人が多いと思いますので、市庁舎とか図書館、公民館等にガラスのケースで展示をして、皆さんに見ていただきたい。それが甲斐市にもこんなにたくさんいいものがあれば、現在、竜王とか双葉等に資料館が分かれていますけれども、一つにして大きな資料館をつくれたらなと考えておりますので、その一段階として移動の展示をさせていただきたいと考えております。

○委員長（内藤久歳君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 文化財は貴重な市民の財産でありますので、ぜひ見ていただくと同時にやっぱり保護を徹底していただくようにぜひお願いをしたいなと、こんなふうに思います。

終わります。

○委員長（内藤久歳君） ほかにございますか。

三浦委員。

○委員（三浦進吾君） 13ページ、いいですか。

011の竜王北部公民館管理運営費という中で、公民館管理事業費と、これ内訳はどんなふうなものがあるのか、ちょっとお聞きしたいと思います。

○委員長（内藤久歳君） 樋口係長。

○生涯学習係長（樋口 充君） 竜王北部公民館の管理事業費934万3,000円を計上させていただいておりますけれども、その内訳ですけれども、公民館管理にかかわる光熱水費並びに公民館の清掃並びに公民館を夜間ですけれども、委託業務の管理委託をしております。その委託料等が盛られております。

○委員長（内藤久歳君） 三浦委員。

○委員（三浦進吾君） 014の敷島公民館の管理運営費という中で、公民館管理事業費が25万7,000円ということですが、そうすると、何運営がしないのか、それともこの辺がちょっとわからないからお聞きしたいと思います。

○委員長（内藤久歳君） 藤本課長。

○生涯学習文化課長（藤本さゆり君） 敷島公民館につきましては、14ページの文化会館費を見ていただきたいと思います。文化会館費の001の敷島総合文化会館管理運営費になっておりますので、主なものは敷島総合文化会館費でとってございます。

○委員長（内藤久歳君） 三浦委員。

○委員（三浦進吾君） 今後もうこういう形でやるということで、理解でいいですか。

はい、わかりました。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

ほかにございますか。

藤田委員。

○委員（藤田 悟君） 12ページの国文祭の件なんですけど、先ほど募集をしているというふうなお話でしたか。ちょっと確認をお願いします。

○委員長（内藤久歳君） 藤本課長。

○生涯学習文化課長（藤本さゆり君） ミュージカルの関係で甲斐市の4月の広報に出させていただきますが、県内の子供たち、大人も含めて50名を一般募集をして、その方たちに出て

いただくという形をとりますので、募集中でございます。

○委員長（内藤久歳君） 藤田委員。

○委員（藤田 悟君） 基本的に去年からこの国文祭の予算をとって、ずっともうやっているわけですね、県内各地市町村でももう終わったところもあり、また現状も進んでいるところもあるわけですね。そういった意味で、ぜひ周知、周知もなかなか見えてこない面もあるので、ぜひよろしくをお願いします。これ要望です。

19ページの図書館の南部公民館と北部、中央公民館の図書室、公民館図書室ですね、現状は以前ではなくて、1階の事務室で図書を借りるという体制になっているということなんですが、ということは、ほとんどもう2階の図書室は、私も確認する限り非常に古い図書が置いてあって、無駄な空間かなという感じもしているんですが、今後はどんな見込みでしょうか。お伺いします。

○委員長（内藤久歳君） 湯本館長。

○図書館長（湯本和仁君） 確かに藤田委員のおっしゃるとおり、中部公民館、南部公民館には以前から少ないということで、今年度より予定しているパート職員を引き揚げまして、無人になっております。したがって、図書室のほうに本がございますけれども、一階のちょうど公民館の事務の方にちょうど貸し出し、返却のほうですね、手続とか業務をしていただいているわけなんですけれども、確かに今年度もやっぱり無人になったということで、昨年度よりも減少しております。もう少し、ちょうど1年がたったということで、今後、公民館の図書室、まだ利用者の方もたくさんいらっしゃいますので、どのようにするか、また検証をして、また考えていかなければならないと思っております。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） 藤田委員。

○委員（藤田 悟君） 基本的に公民館自体は非常によく使われておりまして、利用もかなり活発に行われていますので、ぜひ有効に使われていただけるよう要望します。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） ほかにございますか。

八代委員。

○委員（八代静枝君） やはり19ページをお願いしたいと思っておりますけれども、先ほどは本の貸し出しの冊数を教えていただきましたけれども、返さない人というのがどのくらいいるのか、お聞きしたいと思っております。

○委員長（内藤久歳君） 坂本係長。

○総務係長（坂本和代君） 未返却者というのは、現段階では、貸し出しをしてまだ返却されていない方だと思うんですが、年に1回蔵書点検を行いまして、そこで、不明本というのが多少出てまいります。それについては、貸し出しをしないで館外に持ち出しをされた本ということであるんですが、それにつきましては、平成24年度に行いました不明本については全部で541点となっています。その中には未返却のものも含まれて……。

長期延滞で未返却のものについては、4年を過ぎた段階で資料の配布しますので、不明本の中には入っておりますが、今の段階で長期未返却のものは数字として持っておりません。

○委員長（内藤久歳君） 決算のほうで、やると思うので、また、決算の折に詳しいことは聞いてください。

ほかにございますか。

樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） すみません。先ほど19ページのほうで、011、名取議員のほうからあったんですけども、管理費の中で、ウォシュレット等の改修と竜王図書館の施設管理維持費という予算の内訳というか、それをちょっと教えてください。

○委員長（内藤久歳君） 湯本館長。

○図書館長（湯本和仁君） ウォシュレットにつきましては142万5,690円、6カ所の図書館のトイレのウォシュレット化をいたします。

工事関係でございますけれども、竜王図書館のロス内、熱交換機ですけれども、これ11台が現在非常に熱効率が悪くなっておりまして、こちらのほうの11台を交換するという事で、こちらのほうが144万円、空調一時移ポンプ整備、こちらのほうが竜王図書館の水槽から水を送るポンプで夜間の熱を温めて、夜間の電気で運用しておりますので、これが17万7,000円です。

それから、深井戸ポンプ用専用管整備、こちらがやっぱり熱源機の作動時に必要な水をくみ上げているポンプです。こちらのほうがやっぱり経年の劣化で故障間近でありまして12万1,000円、あと、井戸循環ポンプ分解整備、こちらも同様でございます。一緒についている整備でございます。

以上であります。

○委員長（内藤久歳君） 樋泉委員。

○委員（樋泉明広君） 管理委託料というのはどのくらいになりますか。

○委員長（内藤久歳君） 湯本館長。

○図書館長（湯本和仁君） 管理委託料につきましては、全ての竜王図書館の合計でございます。ちょっとお待ちください。

○委員長（内藤久歳君） 坂本係長。

○総務係長（坂本和代君） 施設の管理委託料の中には、施設清掃と施設警備と施設維持管理に特徴があります。施設清掃の場合は、竜王図書館の日常清掃、ガラス清掃等が入りまして、304万1,000円になります。施設警備委託料は連合警備のほうの控え警備をお願いしております。63万4,000円になります。

あと、施設維持管理委託料としましては、竜王図書館のエレベーター、また電気保安管理、あとは蓄熱運転の開始業務、自動ドアの保守、空調の保守と入りまして、192万8,000円となっております。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

ほかにございますか。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 13ページです。001の公民館関係職員で、去年は3名だったんですね、職員が。25年2人なんですけど、その減った理由を教えてください。

○委員長（内藤久歳君） 藤本課長。

○生涯学習文化課長（藤本さゆり君） 昨年の8月1日付で北部公民館の職員が市民窓口課のほうの係長で上がりましたので、現在臨時職員でございます。4月からは正式の職員をということになっておりますが、予算を計上するに当たっては現状で上げてくださいということなので、一旦2名で上がっておりますが、4月からは3名になります。補正でまたよろしく願いいたします。

○委員長（内藤久歳君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） わかりました。

あと、公民館関係のその他の中で、使用料と公衆電話というのがありましたけれども、この公衆電話というのが今、公民館が8館あるわけですが、一応公衆電話というのは今全部入って使われているのでしょうか。

○委員長（内藤久歳君） 藤本課長。

○生涯学習文化課長（藤本さゆり君） 中部公民館と南部公民館にまだございまして、ピンク電話が置いてあります。若干ですが使われていて使用料が入ってきますので、決算のときに

は多分お幾らかということはお伝えできると思います。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） これはそのまま置いておくということですね、使う人がいる限り。

○委員長（内藤久歳君） 藤本課長。

○生涯学習文化課長（藤本さゆり君） ピンク電話は多分公民館のほうで買い取りになっておりまして、それで使う状況ではあります。

○委員長（内藤久歳君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） わかりました。

後ですね、公民館関係のその他の中で、使用料と公衆電話というのがありましたけれども、この公衆電話というのが今、公民館が8館あるわけですが、一応公衆電話というのは今全部入って使われているのか。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

ほかにございますか。

[発言する者なし]

○委員長（内藤久歳君） ないようですので、これで第6項社会教育費についての審査を終了いたします。

ここで暫時休憩して、職員の入れかえを行います。

休憩 午後 1時42分

再開 午後 1時44分

○委員長（内藤久歳君） それでは、休憩前に引き続き、会議を再開します。

説明、答弁については、簡潔にお願いいたします。

次に、スポーツ振興課より第7款保健体育費について説明を求めます。

斉藤スポーツ振興課長。

○スポーツ振興課長（斉藤 積君） ご苦労さまです。

それでは、スポーツ振興課の25年度予算について説明をさせていただきます。

予算説明書は146ページから149ページになります。

それから予算参考資料16ページからになります。

それでは、予算参考資料に基づいて説明をさせていただきます。

1目の保健体育総務費ですけれども、本年度の予算額8,437万7,000円です。前年度の予算額に対しまして484万7,000円の減額であります。これは主に職員費とチャレンジデー実行委員会の補助金の減額であります。

また、財源につきましては、保健体育総務費は全て一般財源であります。

それでは、事業別にご説明をさせていただきます。

001保健体育関係職員費5,813万6,000円、スポーツ振興課職員8人の給料、職員手当、共済費であります。

010体育総務費401万6,000円、創甲斐こども水泳教室、幼稚園、保育園の年中、年長さん、それから小学生を対象として、全体で25年度も800人を予定しております。それからスポーツ教室の事業の講師謝礼、これにつきましてはプールを利用したアクアビクス、それから健康水中教室と、それからスケート教室、これについては小瀬のスケート場を借りてやっております。それから一般事務費ということで、郵便代、参考図書、それから旅費でございます。

011スポーツ推進委員費232万1,000円、スポーツ推進委員報酬、前、体育指導員と言われていた方々です。25人で年間5万円、125万円。それから研修会等の活動に伴う経費ということで、通常の活動経費のほかに2年に一度、任期2年ですから、25年度最終年度に当たりますから県外研修を実施いたします。それで107万1,000円。

それから、012地域スポーツ普及員100万4,000円、地域スポーツ普及員報酬81人、1万2,000円、97万2,000円ということで、報酬でございます。それから一般事務員は主に地域スポーツ推進委員2年の通知の郵便代3万2,000円でございます。

それから、013自治会体育事業育成補助事業650万円、この間の補正のときもお願いいたしましたけれども、自治会で運動会、軽スポーツ大会を実施したときに対象経費の2分の1を補助するというので、650万円の予算をお願いいたします。また、これについても各自治会の活動状況により、また、補正をお願いする場合がございます。

014県外スポーツ大会出場補助事業80万円、これもこの間の補正のときをお願いしましたけれども、県外大会、県内大会を勝ち抜いて関東大会、全国大会へ行く団体に対して、交通費などの対象経費3分の1を補助するものでございます。

015体育協会補助事業、市の体育協会、14競技団体、16専門部、それから81支部、それからスポーツ少年団と構成されています体育協会に、650万円の補助をいたします。

016梅の里クロスカントリー大会実行委員会補助事業400万円、梅の里クロスカントリー大会でございますが、先月2月24日、ことしも実施いたしまして、申し込みは2,578人ありました。ただ、当日は議員さんにも開会式のほうへ来ていただきましたけれども、物すごい風とか寒さで参加者は実質参加者2,258人ということでありました。

続きまして、017スポレク祭実行委員会補助事業60万円。県のスポーツレクリエーション祭へ参加する方の旅費、保険代、それから競技の負担金ということで、17種目に、去年は442人参加いたしました。

続きまして、甲斐市チャレンジデー実行委員会補助事業50万円、これにつきましては100万円でしたけれども、25年度は50万円ということで、昨年まで、昨年の場合もドラゴンパークでイベントというか、いたしました。今度のチャレンジデー、25年度からはそういうイベントをなくして、各自治会に市で勧めているラジオ体操をしていただくというようなことと、それから各体育施設、グラウンド、体育館等を利用して個々にチャレンジデーに参加していただくというようなことで、大きくメイン会場を設けないということで100万円を50万円ということで減額いたしました。

ちなみに、24年度は5万2,368人の方に参加していただきまして、70.5%という参加率でございました。それで、ことしは5月29日水曜日、毎年5月の1番最後の水曜日に実施いたしますので、5月29日の水曜日に対戦相手が埼玉県蕨市というところと競うということが決定いたしました。埼玉県蕨市というのは面積が5.1平方キロメートルで、日本で1番、面積の小さい市ということで、人口7万2,000人のまちです。そこと対戦するということになりました。

以上で保健体育総務費のほうの説明を終わらせていただきます。

次に、17ページ、2目体育施設費、今年度予算額が1億2,387万1,000円、前年度の予算額に対して2,041万1,000円の減額です。これは主に工事請負費の減額です。24年度は、工事のほうで敷中の夜間照明の増設とか南部公民館のグラウンドの照明灯の塗装とか、双葉スポーツ公園のテニスコートを全天候の張りかえとか、そういうようなことで工事費のほうがありましたけれども、ことしのほうは工事費のほうで900万円ぐらいで少なくなっておりますので、その分減額ということでございます。

財源につきましては、外部施設費のほうのその他財源、これにつきましては施設の使用料を充てております。あとは一般財源でございます。

それでは、各事業別に説明をさせていただきます。

001体育施設総務費30万1,000円。一般事務費ということで、申請書とか許可書等の印刷費、それから通信費でございます。

002体育館維持管理事業2,677万3,000円。各施設の鍵などを預かっていただいております管理指導員の謝金195万7,000円。それから維持管理経費といたしまして、電気代とか警備や施設の保守委託料、それから双葉体育館と竜王スポーツセンターにつきましては、シルバー人材センターへ常駐の維持管理をお願いしております。その他細かい修繕ということで2,286万円。それから、敷島体育館のトイレの改修工事72万7,000円。内容的につきましては、男性のほうのトイレが和式が一つ、洋式が一つあるわけなんですけれども、その様式の1つをウォシュレットにいたします。それから女性のほうのトイレが、和式が3、洋式が1ということで、四つあります。そのうち、洋式が一つしかありませんので、和式の3のうちの一つを洋式にいたします。それからその様式のうち一つを、ウォシュレットにすると。それから多目的トイレがございます。その多目的トイレをウォシュレットにするというのが敷島体育館のトイレ改修工事です。これにつきましては、敷島体育館で国民文化祭のダンスの関連が行われますので、それに間に合うように工事をしたいと考えております。

続きまして、敷島・竜王体育館バスケットボールのコートラインの引き直しと、これにつきましては、2011年にルール改正がありまして、2013年度には完全にそのルールを実施することですのでございますので、そのルールに合ったコートラインに引き直すということで122万9,000円の予算をお願いするわけです。

次に、003屋外体育施設維持管理事業、これにつきましては1,626万8,000円、管理指導員謝金116万2,000円、それから維持管理経費といたしましてグラウンドの石灰、塩化カルシウム、それから電気代等でございます。

次に、敷島南小学校夜間照明増設工事、これにつきましては敷島地区、敷島北小、敷島中学、敷島南小、3年計画で1校ずつ夜間照明の改修工事をしてしておりますけれども、25年度は最終で敷島南小学校の夜間照明の増設工事をいたします。工事内容については、球数を16と増設する工事内容でございます。625万3,000円でございます。

次に、004武道館維持管理事業394万8,000円。管理指導員に対して12万5,000円、それから維持管理経費といたしまして警備委託、各設備の保安委託、電気料ということで、予算の80%は電気料がここは占めております。

次に、005双葉スポーツ公園維持管理事業951万6,000円。これにつきましても、維持管理経費ということで、石灰、塩化カルシウム等の消耗品、それから浄化槽、電気設備の保守委

託、それから電気料でございます。814万3,000円。

次に、グラウンド夜間照明改修工事137万3,000円。これにつきましては、双葉スポーツ公園の夜間照明につきましては、点灯パターンが6パターンございまして、全面的にサッカーで使うとか、またはソフトボールでA面とC面を使うとか、そんな感じで、使い方によって、用途によって照明のつくパターンが6通りあったわけなんですけれども、雷の影響だと思ふんですけれども、それでそのパターンのほうが狂いが出まして、その改修をしなければならぬということで、137万3,000円をお願いするわけでございます。

続きまして、006 B & G 海洋センター運営費1,975万7,000円。施設修繕費等ということで、通常の修繕、それからB & G 協議会の総会への出席旅費ということで75万7,000円をお願いするわけです。

それから指定管理料、ここにつきましては24年から28年度、5年間ということで指定管理のほうも計画しておりますけれども、敷島のB & Gが730万円、双葉のB & Gが1,170万円ということで、合わせて1,900万円の指定管理料でございます。

009玉幡公園総合屋内プール運営費4,730万8,000円。施設改修費等ということで、これにつきましてはヒートポンプのコンプレッサー交換、それからシャワールーム間仕切り壁修繕などであります。480万8,000円。指定管理料、これにつきましては25年度から28年度4年間、指定管理料ということで4,250万円のお願いをするわけでございます。

続きまして、18ページになります。

釜無川スポーツ公園管理費、釜無川スポーツ公園につきましては予算額511万1,000円。前年度予算額に比ばまして2万1,000円の増額であります。

財源内訳ですけれども、国県支出金212万5,000円、これは県からの委託料でございます。その他財源90万円、これ使用料を充てます。それから一般財源ということでございます。

事業の内容的には、管理指導員12万5,000円、それから維持管理経費といたしまして石灰、塩化カルシウムの消耗品、それから夜間照明の電気代、それからシルバー人材センターへ維持管理委託常駐をお願いしております。その経費、合わせて498万6,000円でございます。

以上、簡単ではございますが、説明とさせていただきます。

よろしく願いいたします。

○委員長（内藤久歳君） 説明が終わりました。

これより説明に対して質疑を行います。

先に所管の委員の質疑を行います。

質疑はございますか。

名取委員。

○委員（名取國士君） 17ページの005双葉スポーツ公園の夜間照明の件ですけれども、これはなんか向きがおかしくなったと言ったんですけども、こういう風でもって回されたとか言われた、雷なんかかと言っていましたよね。どんなふうな……。

○委員長（内藤久歳君） 双葉だね。

○委員（名取國士君） 双葉。

○委員長（内藤久歳君） 箭本係長。

○施設管理係長（箭本 太君） 先ほど課長のほうからご説明をさせていただきましたが、恐らく雷の影響で点灯パターンが狂ってしまったというふうに考えております。風の影響でライトの向きが変わったというふうなことはございません。

○委員長（内藤久歳君） 名取委員。

○委員（名取國士君） 雷の影響で、ライトの向きが変わっちゃったってことですか。

○委員長（内藤久歳君） 斉藤課長。

○スポーツ振興課長（斉藤 積君） 御存じのように双葉体育館、大きな四角のグラウンドになっています。そこに夜間照明かなりついていますが、真ん中で全面的に1面でサッカーやるときにはこの電気この電気というようについて、全部をつけるわけではなくて、例えば、ソフトボールをやる場合に、A面とC面、対角線で使う場合にはこのパターンとか、そういうふうに、軟式野球する場合でしたら、軟式野球のパターンとか、そういうふうにポンポンと押すとできるようになっているんですけども、それが雷の影響と思うんです。そのときに、農の駅とか雷ですぐそばもやられたので、うちのほうも雷でやられたんじゃないかということで、その故障ぐあいがあるという原因がそうではないかということで、それを専門家に見てもらいまして、そのパターンを修繕しないといわゆる電気代がもったいないですから、そういうことで修繕させてほしいということでございます。

○委員長（内藤久歳君） 箭本係長。

○施設管理係長（箭本 太君） 今、もう一度ご説明をさせていただきましたが、双葉のグラウンドにつきましては、点灯パターンが記憶されたカードを機械に投入をして使用する形式となっております。そのパターンを読み取るシーケンサーという機械の部分があるんですけども、その部分が恐らくその雷の影響で壊れてしまって、うまく読み取りができないというって、点灯パターンが狂ってしまって、本来つくべきところが見つからないというふうな形の異

常が発生しているため、それを改修させていただきたいということです。

○委員長（内藤久歳君） 名取委員。

○委員（名取國土君） そういう説明しりゃいいんだよ。雷でもって、バカーンとやれたときに、その部分だけやられるというのが不思議なんですよ。そういうセンサーでいろいろ読んでいるのがやられたということになればわかるけど、そういう説明ほしいんですよ。

そして、もう一つ、あそこには雷棒とか立っているでしょう、あの上に。1本ずつ立っているはずだよ。それは全然、役しなかったですか。

○委員長（内藤久歳君） 箭本係長。

○施設管理係長（箭本 太君） 先ほどもご説明させていただきましたが、はっきりとした原因がわかりません。恐らく雷の影響ではないかということで、照明灯の器具を設置、納入した当時、業者コイトという会社ですけれども、そちらのほうに確認をしていただいたところ、恐らく雷の影響ではないかということです。そんな形で機械のほうの修繕改修をさせていただきますと思います。

○委員長（内藤久歳君） 名取委員。

○委員（名取國土君） あのね、雷かどうかというのをちゃんと確認とってやるのが工事だと思うんですよ。なぜかという、これを直して、また雷の時期になるとまたやられちゃうと、そういう手当てをしないと、また同じ原因になるんですよ。だから、雷なのか、それは、なんかのあれでなったのかと突きとめないと、ということをお願いしたいんですよ。どうですか、そのところ、部長。

○委員長（内藤久歳君） 市川部長。

○教育部長（市川孝嗣君） 先ぐらいから、担当課長が、担当係長が申しあげましたように、いわゆるその制御をしているコンピューターということですね、それが雷の原因なのか、劣化なのかというふうな原因は特定はできないということですけれども、恐らく雷じゃないかということで、それはうちの担当がそのパターンが狂ったときに、当時の入れた業者に見ていただいたんですけれども、原因が雷というふうな断定はできないというふうな回答でしたので、それ以上はいわゆる我々が、じゃ、原因が何かということではできないということですから、いつときも早くそちらのほうの改修をしたいということでございます。

○委員長（内藤久歳君） 名取委員。

○委員（名取國土君） 改修早くやってもらわないと、ほら使う必要が出るからいいんだけど、そこに雷棒立っているはずですよ。そういうもの立っているということは、それを防

ぐために立っているんですから、お金をかけてあるんですよ。それちょっとね、確認して、それ相当の対応していったほうがいいと思いますよ。いっぱいお金かけるんだから。ぜひ要望で、はい。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

ほかにございますか。

斉藤委員。

○委員（斉藤芳夫君） 自治会の体育事業の補助金についてお伺いしたいんですけれども、650万円計上ということは、24年度の予測というか、ぼつぼつ結果出ていると思うんですけれども、これは単純に40ないし50自治会がまたあるだろうという想定の前算ですか。

○委員長（内藤久歳君） 斉藤課長。

○スポーツ振興課長（斉藤 積君） 22年度、23年度、24年度と大体600万円ちょっと超したり少なかったりということで、一応600万円ということで予算をもらわしていただきまして、そしてまたですね、説明会等で各自治会の運動会、または軽スポーツ大会をやる計画を出していただきまして、それを実施していただくときに予算が足りないのではないかなという事態になれば、またそのときに20万円なり21万円なり、21万円はこの間の話ですけれども、補正をさせていただくということで、ご了解をいただきたいと思います。

○委員長（内藤久歳君） 斉藤委員。

○委員（斉藤芳夫君） 年々その推移は余り変わっていない、いつも40ないし50前後ということですか。

○委員長（内藤久歳君） 箭本係長。

○施設管理係長（箭本 太君） 自治会体育事業の実績になりますが、平成22年度につきましては、136自治会のうち108自治会が実施をし、667万6,574円、平成23年度につきましては、同じく136自治会につきまして102の自治会が実施をし、607万円という形になっております。これに基づきまして650万円を予算いただき、補正等で対応していきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

○委員長（内藤久歳君） 斉藤委員。

○委員（斉藤芳夫君） そうすると、補助の15万円上限というようなルールがあったような気がするんですけども、そこまでいかない補助の自治会が多いということですね。

○委員長（内藤久歳君） 斉藤課長。

○スポーツ振興課長（斉藤 積君） 今、委員さんがおっしゃったようにですね、最高額15万

円ということになっています。そして、軽スポーツだけの場合については最高7万円と、対象経費のですね。

それで、もちろん40万円、50万円かけて運動会をする自治会もごございます。対象経費を拾い出してその2分の1ということになると、金額的には20万円ぐらいいきますけれども、上限の15万円のお支払いをしているわけなんですけれども、中には運動会ということであっても、8万円とか9万円の自治会で予算を組んでやっているところもごございますので、その場合に仮に10万円が対象経費としてなった場合に、2分の1ですから5万円の補助をするということになります。そうしますと、全部が全部15万円の上限を超すということではございませんので、一応今までの三、四年の経過を見ると600万円前後で推移していますので、今回600万円を予算をいただいておいて、また、それがオーバーするようであれば、また補正をお願いしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○委員長（内藤久歳君） 齊藤委員。

○委員（齊藤芳夫君） もう一つ、玉幡公園のプールの施設修繕費で480万円となっておるんですけれども、ここに利用者のほうから要望というか苦情というか、施設整備をしてほしいみたいな話はございませんか。

○委員長（内藤久歳君） 齊藤課長。

○スポーツ振興課長（齊藤 積君） 過去はちょっとわかりませんが、24年度に限って言えば、要望はないです。

ただ、24年度の予算で対応しておりましたけれども、23年度のときにジャグジーって、こぶくぶく泡が出るところがあるんですけれども、そこがちょっと体の不自由な方が手すりをもう少しふやしていただかないとということで、そのほうは対応いたしました。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） 齊藤委員。

○委員（齊藤芳夫君） そういうふうに要望が文書で出ていないかもしれないけれども、西側の窓の直射日光云々という話はどうですか。

○委員長（内藤久歳君） 齊藤課長。

○スポーツ振興課長（齊藤 積君） 西側の窓の直射日光がということでまだ、直営のときにその関係でですね、いわゆる西側のガラスの外側ですね、そちらのほうで植栽をして、少しでも西日を防ぐような形をそのときとったということで、引き継ぎのほうでは受けています。

○委員長（内藤久歳君） 齊藤委員。

○委員（齊藤芳夫君）　そういう対策をして、結果というか成果とはどういうふうですか。

○委員長（内藤久歳君）　齊藤課長。

○スポーツ振興課長（齊藤　積君）　実は、私もあそこの歩行用のプールをちょっとリハビリの関係で利用させていただきますけれども、確かに西日がまだまぶしい状況はあります。ただ、あの木がもう少し枝ぶりがよくなれば、何とか防げるではないかと思います。

　　以上です。

○委員長（内藤久歳君）　ほかにございますか。

　　名取委員。

○委員（名取國土君）　バスケットのコートラインの件なんですけれども、敷島と竜王の体育館になっているんですけれども、これは改正でもって、こういうやりかえすって言ったんだけれども、この二つの体育館だけですか。あと、中学とかそういうところのはいいいんですか。

○委員長（内藤久歳君）　齊藤課長。

○スポーツ振興課長（齊藤　積君）　学校のほうは、もう既にコートラインの引きは終わりました。私ども社会体育施設として、双葉、敷島、竜王体育館とございます。双葉体育館のときに体育館を建てている最中にルールが変わったことがわかりましたので、ラインをコートを引くときに新しいルールにのっとったラインをしております。それで今回、敷島と竜王体育館のほうをお願いするわけです。

　　以上です。

○委員長（内藤久歳君）　猪股委員。

○委員（猪股尚彦君）　1点教えていただきたいんですけれども、16ページの先ほどから出ている013の体育補助事業の関係で、市からの補助金が650万円とありますけれども、先ほど言った事業の2分の1補助、最高額15万円等とありますよね。要は自治会から体協というか、体育協会というか、そういうものに対して加入金、これ入になってしまって悪いんですけれども、ちょっとその辺を知りたいんですけれども、1校当たり何ぼというお金が徴収されているんですかね。その辺はどうですかね。

○委員長（内藤久歳君）　齊藤課長。

○スポーツ振興課長（齊藤　積君）　今のご質問ですけれども、体育協会のほうは、市のほうからの補助金650万円、それから各世帯から200円、1世帯200円ということで、それは各自治会が自分たちのところを集めていただいて、体育協会へ納入していただくということでございます。それは、市の補助金と、その各自治会からの助成金ですね、それを合わせて体育

協会が運営しております。

こちらのほうの自治会への体育事業の補助金につきましては、市の一般財源から各自治会にスポーツの推進をしていただくために補助を出すということで、体育協会の事業とはまた別でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（内藤久歳君） 猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） わかりました。

じゃ、自治会から今、繰り返しで悪いですけども、納める金はこういう補助金にはね返りがないと、全然関係ないという解釈でよろしいですね。

○委員長（内藤久歳君） 斉藤課長。

○スポーツ振興課長（斉藤 積君） そのとおりでございます。

○委員長（内藤久歳君） 所管の委員の皆さんよろしいですか。

〔発言する者なし〕

○委員長（内藤久歳君） 所管の質疑を打ち切ります。

ここで、次に所管以外の質疑を受けます。

ございますか。

池神委員。

○委員（池神哲子君） 17ページの002体育館維持管理のところ、ちょっと感じたんですけども、体育館のトイレの改修にウォシュレットが必要なのかなとさっき思ったんですけども、公共の中にはそこまでしなくていいと思うし、要望があったのかなと思っているんですけども、そのあたりはどんなふうか。

○委員長（内藤久歳君） 斉藤課長。

○スポーツ振興課長（斉藤 積君） ウォシュレットの件は、議員さんのほうからも質問が出たかと思いますが、先ほど説明したように、敷島体育館、25年度国民文化祭でダンスの会場になります。それで、甲斐市の公共施設、ウォシュレット化率は余り進んでいないと思いますけれども、それで女性の方も大勢お見えになりますので、本当は全部できればいいんですけども、男性、女性一つ、それから多目的トイレが一つということで、ウォシュレットのほうをさせていただくということで、これは必要かどうかというのは、それぞれのお考えがあるかと思いますが、時代の要請ではないかと思いますが、

○委員長（内藤久歳君） 池神委員。

○委員（池神哲子君） やっぱその時代の要請というのはあるかもしれないんですけども、

和式がまだある中で、やっぱり水洗化するということがまず大事なよね。ウォシュレットも全部つけるのかなあいいです。じゃ、結構です。

○委員長（内藤久歳君） ほかにございますか。

八代委員。

○委員（八代静枝君） すみません。

16ページの梅の里クロスカントリーのところなんですけれども、これは400万円実行委員会へやっている事業だと思うんですけれども、この中で私が聞きたいのは、女性団体の人たちが豚汁をつくるんですよ。その関係なんですけれども、こんなにたくさん、この補助事業にお金が入っていると私も知らなくて、今回初めて知ったんですけれども、私も参加したんですけれども、豚汁をつくる時に細かい話になりますけれども、経費が削減されたという話で、事務局のほうから。そしてことしはおネギが買えないからネギは駄目だとか、そういうことを言われているんですけれども、その辺についてどれだけ予算がなくて、どうなっているのか、まずお伺いします。

○委員長（内藤久歳君） 斉藤課長。

○スポーツ振興課長（斉藤 積君） クロスカントリーの場合は、ちょっとご説明をさせていただきますと、400万円市から補助が出ております。

それから、部分的に参加者の親子ファミリーというのがございます。その親子ファミリーというものが、いわゆる小学校1年、2年、3年生と親が走る部門ですけれども、その参加するのと、それから小学校4年生、5年生、6年生、それから中学生というのが無料になっているんです。それ以外の方のほうで参加料をいただいておりますけれども、毎年いわゆるタイムをはかったりする経費とか、それからいわゆる会場の経費とかということで、ぎりぎりの線でやっているわけなんです。それで、今回、家庭の主婦の方はよく御存じかと思いますが、薬物が高過ぎて、ちょっとけちるところをけちったというのが本音かもしれませんが、実際かなり値段がいていたものですから、細かいところで申しわけなかったんですけれども、そんなことでお願いします。

○委員長（内藤久歳君） 八代委員。

○委員（八代静枝君） もちろん、そういうふうにして切られるところは弱いところというか、切ってくると思うんですけれども、さっき言ったように参加者が2,258人ですか、それに役員の人、そして吹奏楽の人、そして出店している人、物すごい量の豚汁をつくるんですよ。しかもこれが女性団体がつくるのが半ば当たり前というふうに使われてやっている部分があ

と思うんですよ。そうした中において、すごい労力なんです。これ前日から材料の仕分けに行き、当日はこんなに大きい鍋で、しゃもじでこうやってつくるんで、これにはぜひ男性の力も必要で、重い鍋を持ったり、水を持ったり、うちの家庭のこんな鍋をつくるような豚汁じゃないので、市の職員が協力はしていただいているんですけども、ぜひこれは男性の力も必要な作業ですので、その辺を考えていただきたいということも一つどうですか、その辺の考え方については。

○委員長（内藤久歳君） 箭本係長。

○施設管理係長（箭本 太君） 経費につきましては先ほどうちの課長のほうからも話がありました。全体的に今高騰している中なんですけど、金額的には削減はしておりません。同じような金額で材料費を買わせていただいて、お願いをしているというのが今の状況でございます。

あと、先ほど言ったかまと重いものについてですが、一応うちのほうでも職員がもちろん協力体制なんですけど、ことしについては男性を多くさせていただいて、その補助もさせていただきますが、今言った話の中で、また女性団体連絡協議会のほうと話をしながら、来年検討をしていければと思っております。よろしく申し上げます。

○委員長（内藤久歳君） 八代委員。

○委員（八代静枝君） これについては、先ほど、今度、男性をふやしてくれるという話ですけども、聞いたところ、私はこれ本当に1人の人が3回も来る人がいるんですよ。豚汁もらいに。また並んで並んで。だから、幾らつくっても……。いや、すみません、だから、ぜひ予算を薬物が高かったらそのくらいふやして、あの風の中、女性団体の人たちがすごい苦勞されているので、そして、これがクロスカントリーのメインだということなので、ぜひもう少し力を入れてやっていただきたいということを本当にお願ひします。

○委員長（内藤久歳君） 市川部長。

○教育部長（市川孝嗣君） 実際にですね、カントリー大会につきましては、市のほうから400万円、あと、先ほど担当課長が申しあげましたように、小・中学生、それから親子ファミリーについては無料、それ以外の参加者については有料ということで、それが200万円、合計で600万円ちょっとの運営でやっているわけでございます。

また、担当の係長が申しあげましたように、豚汁のほうの経費につきましては18万1,000円ということで、昨年と同額の金額です。

しかし、いわゆる薬物が多少昨年から比べたら高くなっているというふうなことからして、

多少今、議員さんがおっしゃったように量が少なくなったということが1点あるかと思いません。

ですから、無料は本当にいいかどうかというふうなことも今、うちのほうも検討をして、例えば最低でも300円とか500円とか、そういった内容の参加料も必要じゃないかなというふうな内容も検討をしまして、将来的にどういった形態がいいのか。そういった豚汁も2回も3回も並ぶ人にあげるのがいいのか、そういった券を配るのがいいのかという内容も総合的に検討して、皆さんがやってよかったなというふうな大会にしていきたいと思しますので、今年度につきましてはそういうことでおわび申し上げたいと思います。

○委員長（内藤久歳君） 八代委員。

○委員（八代静枝君） すみません、豚汁の話で長くなってしまって。本当に女性の人たち、無償でうんと頑張って苦勞していますので、ぜひそのところをおくみ上げください。よろしく願いいたします。

○委員長（内藤久歳君） ほかにございますか。

三浦委員。

○委員（三浦進吾君） すみません、17ページの先ほどの002体育館維持管理事業ということですね、ちょっとお聞きしたいのは、維持管理経費ということで2,200万円盛ってありますけれども、その内訳をちょっと大体教えていただきたいと思います。

○委員長（内藤久歳君） 斉藤課長。

○スポーツ振興課長（斉藤 積君） 2,286万円ということで、そのうち占めるのが電気代が762万円、それから主に占めるのが、竜王スポーツセンターのほうと双葉体育館のほうのシルバーのほうの維持管理委託料で650万円、両方で650万円ばかりですね。あとは細かい警備委託とか、それから清掃委託とか、電気保安委託とか、そういうもろもろ合わせて2,286万円ということで、今言ったのは大きな金額のところだけ申しましたけれども、以上です。

○委員長（内藤久歳君） 三浦委員。

○委員（三浦進吾君） 課長、ありがとうございます。

私がちょっと聞きたかったのは、体育館別の維持管理ということ大体どのくらいの、今回、敷島体育館で国文祭がございませぬ。トイレの改修とかコートラインとかということをしています中で、敷島体育館の管理経費を今回例えば少し余分に盛り過ぎているか、その辺がちょっとお聞きしたかったんだけど、その辺はどうでしょうか。

○委員長（内藤久歳君） 斉藤課長。

○スポーツ振興課長（齊藤 積君） 敷島体育館については、通常の昨年と同様の維持管理経費、ただ、そこへトイレの改修工事が入るということで、また、竜王体育館にしても双葉体育館にしても、例年と同じような感じの維持管理でございます。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

所管以外の委員の質疑はありませんか。

〔発言する者なし〕

○委員長（内藤久歳君） 傍聴議員はよろしいですか。

〔発言する者なし〕

○委員長（内藤久歳君） ないようですので、これで第7項保健体育費についての審査を終了いたします。

ここで暫時休憩し、職員を入れかえを行います。

休憩 午後 2時29分

再開 午後 2時43分

○委員長（内藤久歳君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

なお、藤原委員は早退の旨の連絡がありましたので、報告いたします。

それでは、会議を再開します。

説明、答弁については簡潔にお願いいたします。

次に、税務課より第2款総務費、第2項徴税費のうち税務課所管事業について、説明を求めます。

土肥税務課長。

○税務課長（土肥冷子君） お疲れさまでございます。

税務課からですが、予算説明の前に3月15日に終了いたしました確定申告書の受け付けにつきまして、ご報告をさせていただきます。

2月18日から3月15日までの1カ月間、3会場合わせまして7,073件の確定申告書及び市県民税申告書を受け付けいたしました。多くの方々のご協力をいただき、おかげさまで無事終了することができました。改めてお礼申し上げ、報告とさせていただきます。ありがとうございました。

それでは、2款総務費、2項徴税費につきまして、ご説明させていただきます。

この徴税費につきましては、税務課、収納課の2課の予算となっております。説明が重複する部分もあるかと思いますが、あらかじめご了承くださいと思います。

予算説明書では62、63ページ以降と別冊予算参考資料ナンバー3、2ページ、3ページをお願いいたします。

まず、予算説明書1目税務総務費の今年度予算額につきましては、2億1,840万1,000円です。前年度予算額と比較いたしますと981万7,000円の減額となります。

それでは、参考資料の2ページによりまして、税務課関係を事業別に説明させていただきます。

001税務課関係職員費2億423万3,000円につきましては、税務課、収納課職員27人の人件費でございます。財源内訳の国県支出金787万5,000円につきましては、県の支出金の個人県民税徴収取扱費交付金でございます。

010税務管理費国県支出金7,875万円につきましては、県の支出金であります個人県民税徴収取扱費交付金でございます。

010税務管理費市民税1,162万8,000円につきましては、市民税関係の事務経費でございます。市民税等に係る事務経費1,159万8,000円は、納付書等発送用の郵便料、繁忙期にかかる臨時職員の賃金、社会保険料等の人件費、事務用消耗品等の費用でございます。山梨県都市税務連絡協議会負担金3万円です。

次に、011同じく税務管理費資産税76万5,000円につきましては、資産税関係の事務経費です。資産評価システム研究センター等負担金9万6,000円、一般事務費66万9,000円は、繁忙期の臨時職員の賃金及び消耗品等でございます。

次に、予算説明書62、63ページの2目賦課徴収費の今年度予算額は1億7,343万4,000円です。前年度予算と比較いたしますと3,878万1,000円の増額となります。

参考資料2ページ、3ページに戻っていただきまして、事業別に説明させていただきます。

010市民税賦課徴収費1,534万円につきましては、市民税賦課に係る費用でございます。財源内訳、国県支出金787万5,000円につきましては、県の支出金であります。個人県民税徴収取扱費交付金、その他419万4,000円につきましては、税務課の証明手数料でございます。

事業の概要でございますが、申告書等パンチ委託経費として150万2,000円でございます。年金支払報告書、確定申告書等のデータ入力のための委託費用でございます。

次に、賦課事務経費879万6,000円は、事務用消耗品、市県民税納付書、封筒等の印刷経費

及び25年度臨時経費といたしまして、自動交付機改修委託料294万円でございます。この改修委託料は、今まで自動交付機からは所得証明書と課税証明書の2種類の証明書を発行しておりました。この2種類の所得証明書と課税証明書を一体化いたしまして、所得課税証明書として、自動交付機から発行できるようにするものでございます。25年度分からは所得関係の証明書は基本的にはこの1種類になります。

次に、確定申告受付事務に係る経費71万9,000円は、申告会場運営に係る経費及び申告用消耗品等の経費でございます。

次に、法人市民税に係る経費58万4,000円は、事務用消耗品、申告書、封筒等の印刷製本費です。

次に、電子申告・国税連携関係費373万9,000円は国税連携電子申告利用料、これが259万7,000円です。及び地方税電子化協議会への負担金及び分担金114万2,000円でございます。

次に、011軽自動車税、たばこ税等賦課費277万5,000円につきましては、消耗品、納税通知書、封筒等の印刷製本費、軽自動車税申告書取扱手数料及び納税通知書印刷委託料などの経費でございます。

次に、012固定資産税賦課費5,970万5,000円でございますが、昨年度に比較いたしまして4,100万円ほど増額となっております。この増額の主な要因は、25年度は次回評価がえ年度となります平成27年度評価がえに当たりまして、いろいろ準備する年度になっております。そのための経費が計上してございます。

順次事業概要につきましてご説明いたします。

まず、固定資産税基礎資料作成委託業務915万6,000円は土地の形態、利用状況の確認に活用するための地番図異動更新業務各地計算業務等の経費並びに3年に一度の航空写真撮影及び画像データ作成委託、これが535万5,000円です。

次に、固定資産税土地鑑定評価業務4,332万8,000円です。内訳につきましては、市内の標準宅地50地点の地点修正、並びに新規の路線の鑑定委託経費でございます。それから27年度評価がえ経費といたしまして、市内167地点の標準宅地鑑定業務委託経費、これが1,167万8,310円です。それから、市街地宅地評価法を行う地域の3,405路線の路線価鑑定委託経費、これが3,076万5,026円等でございます。

次に、固定資産税支援システム保守委託経費41万円は、システムのソフト及び機器の保守委託の経費でございます。納税通知書等印刷代行業務119万7,000円は、納税通知書、納付書、課税明細書の印刷委託経費です。

次の賦課事務経費561万4,000円は、納税通知書等の発送の郵便料、納税通知書、封筒等の印刷代、土地の分筆等に係る地積図墨入れ業務委託経費等でございます。このほか臨時経費といたしまして、業務系の電算改修費100万2,750円がございます。納税通知書の土地評価方法、表記プログラムの改修と償却資産電子申告システム連携業務委託でございます。

次に、014市税還付金2,165万円につきましては、市税の更正等に係る還付金でございます。

以上で説明を終わらせていただきます。よろしく願いいたします。

○委員長（内藤久歳君） 説明が終わりました。

これより説明に対して質疑を行います。

先に所管の委員の質疑を行います。

質疑ありますか。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 3ページの012の固定資産税土地評価業務ですけれども、ことし、かなりの額なんです、これ毎年だったですか。

○委員長（内藤久歳君） 土肥課長。

○税務課長（土肥冷子君） 3年に一度の評価がえの準備のものとしたしまして、評価がえの標準宅地鑑定業務、それから路線価の評価がえ鑑定業務というものが二つございまして、これが3年に一度の経費で、二つ合わせまして約4,100万円ほど、これが3年に一度の経費となっております。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

ほかにございますか。

[発言する者なし]

○委員長（内藤久歳君） なければ、委員の質疑を終了いたします。

続いて、傍聴議員の質疑を受けます。

ございますか。

[発言する者なし]

○委員長（内藤久歳君） ないですね。

これで所管の質疑を打ち切ります。

続きまして、所管以外の委員の質疑を受けます。

何かございますか。

清水委員。

○委員（清水正二君） ちょっと教えてもらえますか。

2ページの010、先ほど説明があったんですけども、賦課事務経費ということで、何か納税証明のそれが全部ここで一括でとれるということなんですけれども、今度これに導入することによって、今、住基カードとかそういうのがあるんですが、それは使えるようになるんですか。

○委員長（内藤久歳君） 土肥課長。

○税務課長（土肥冷子君） 住基カードは使えません。市民カードで交付ということになります。今までと同じです。

ただ、自動交付機から出てくる証明書が今まで2種類あったんですけども、所得証明書とそれから課税証明書という2種類があったんですけども、それぞれ所得のみとそれから税額のみ証明しか出なかったわけなんですけれども、今度それを一緒にいたしまして、課税内容がその1枚をとっていただければ、全てわかるような証明が自動交付機からも交付できるということで、その改修のための費用でございまして、取得方法は従前と変わっておりません。

○委員長（内藤久歳君） 清水委員。

○委員（清水正二君） 市民カードでとれるということなんですけれども、住基カードをつくってですね、市民カードと住基カードと両方あって、市民カードでなければ、ここだけじゃなくて今、印鑑証明とかもその市民カードでとれるんだけれども、ほかのところでもって、住基カードでそういったものができるということは、現実には、どこかほかでやっているところとかないですか。

○委員長（内藤久歳君） 長田市民部長。

○市民部長（長田 修君） お疲れさまでございます。

住基カードと市民カードと大変似ていて紛らわしいですけども、一般的に市のほうで発行していますのは大体六十数パーセントの発行率です。市民カードにつきましては、15歳以上の方が対象となっていますけれども、こちらで証明とか印鑑証明、証明の類いですね、自動交付機でとるようになっております。

それから、住基カードのほうは性質がちょっと違いまして、日本全国、本人の身分証明にかかわるカードということで、いろんな機能を持たせることもできるようですけども、コスト面とか、あるいは市民カードと内容が重複するような部分があるということで、余り県内でも住基カードのほうにたくさんの機能を持たせてということで利用している市町村はな

いというふうに、具体的な数はわかりませんが、ないというふうに聞いてはおります。

○委員長（内藤久歳君） 清水委員。

○委員（清水正二君） 住民のほうからすればね、市民カードと住基カード両方持っていて、当然今から住基カードをとるにただじゃないですよ。それやっついて、要するに、二つも持っているよりは一つで何かできればという、そういうあれもあるんですけども、そういったところで、それが今から導入するということであれば、そういうことを考えられないのかなということなんですけれども、いかがですか。

○委員長（内藤久歳君） 長田部長。

○市民部長（長田 修君） 今、申し上げたとおりですけども、市民カードとそれから住基カードは目的がちょっと違うというふうなこともございますし、なおかつ、普及率がですね、これはこちらの力不足ということも宣伝不足ということもあるのかもしれませんが、市民カードは先ほど言いましたように、対象者が六十数パーセントは所持されていると。住基カードのほうは、これはちょっとはっきりした数字じゃないですけども、甲斐市で5%前後、対象者がですね、というふうな開きがあるものですから、どうしてもそういう証明関係とかにつきましても、今のところは市民カードでとっていただくというふうな現状になっております。

○委員長（内藤久歳君） 清水委員。

○委員（清水正二君） わかりました。

あれが違うということでね、だけれども、住基カードの普及率が少ないということは持っているだけで余り役することがないという意味だと思うんです。そういった事情も心得ておいて、終わります。

○委員長（内藤久歳君） ほかにございますか。

三浦委員。

○委員（三浦進吾君） 3ページの012固定資産税、これ評価がえということで、これ予算組んでおるんですけども、予算ですから大体これから進捗状況としては評価が上がるということはないと思うんですけども、大体仕上がるとして、いろんな大変複雑な事務もございますけれども、予定としては大体いつごろを考えていますか。お答えをお願いしたいと思います。

○委員長（内藤久歳君） 長田係長。

○資産税係長（長田 隆君） 平成27年の評価がえ目標に、中間年として、この作業を進めて

まいります。

○委員長（内藤久歳君） ほかにございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（内藤久歳君） ないようですので、質疑を終了します。

これで、第2款総務費、第2項徴税費のうち税務課所管事業についての審査を終了します。

次に、収納課より第2款総務費、第2項徴税費のうち収納課所管事業について、説明を求めます。

花田収納課長。

○収納課長（花田茂美君） お疲れさまでございます。

引き続きまして、収納課の歳出についてご説明申し上げます。

予算参考書では同ページになります。62、63ページ下段から64、65ページにわたりまして、予算参考資料では4ページになります。

予算参考資料の4ページによりまして説明のほうをさせていただきます。よろしくお願いたします。

まず、2項徴税費、1目税務総務費のうち050市民部公用車維持管理事業でございますが、市民部に配車された公用車につきましては収納課で一括管理しており、この維持管理費として118万5,000円を計上させていただきました。財源は全て一般でございます。内容といたしましては、軽自動車6台分の燃料費と、うち3台分の車検費用などでございます。

続きまして、2目賦課徴収費のうち002賦課徴収関係嘱託、臨時職員費1,070万1,000円につきましては、徴収嘱託員等の任用に伴う経費でございます。財源は県の個人県民税徴収取扱費交付金から787万5,000円、一般が282万6,000円となっております。内容といたしましては、徴収嘱託員3人分の報酬及び社会保険料、収納指導専門員1人分の報酬でございます。なお、徴収嘱託員につきましては、今年度より1名の減となっております。

また、収納指導専門員の任用につきましては、今年度に引き続きまして山梨県地方税滞納整理推進機構の特別アドバイザーを予定しております。任用目的につきましては、困難事案の処分に対する個別指導、助言のほか、職場内研修の講師として、職員への徴収知識の伝授を目的としております。

次に、013諸税徴収費6,326万3,000円につきましては、市税並びに国民健康保険税の徴収に要する事務経費等でございます。財源は県の個人県民税徴収取扱費交付金から1,050万円、その他といたしまして、納税証明と督促の手数料から315万9,000円、一般が4,960万4,000円

となっております。

主な内容につきましては、固定資産税の前納報奨金、督促状や再発行納付書等の印刷費並びにこれらの郵送料、コンビニ収納や金融機関の口座振替等に係る手数料、年度末に二重納付や課税更正などによって過誤納付が発生し、還付処理が間に合わない場合に備える還付未済分の還付金、納付状況の確認に用います消し込みデータOCRの処理委託料、あと、事務消耗品のほか、県の滞納整理推進機構運営費負担金などがございます。

以上の賦課徴収費につきましては、収納課の執行分は合計欄でございます7,396万4,000円で、前年度より299万5,000円の減額となっておりますが、こちらにつきましては、今年度の実績に基づいて固定資産税の前納報奨金を減額したこと、また、徴収嘱託員が1名減になったことが主な要因でございます。

以上であります。よろしく願いいたします。

○委員長（内藤久歳君） 説明が終わりました。

これより説明に対して質疑を行います。

先に所管の委員の質疑を行います。

質疑はございますか。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 013のコンビニ収納ですが、数字的に効果と何かわかるものがあれば、参考に……。

○委員長（内藤久歳君） 飯沼係長。

○管理係長（飯沼秀司君） 24年度の実績でございますが、2月末現在の数字を申し上げますと、コンビニ収納の取り扱っている税目につきましては、市県民税の普通徴収、それから固定資産税、軽自動車税の3税でございます。これらの2月末の納付金額が約50億円ございます。件数にしまして17万7,000件ほどございまして、そのうち、コンビニ収納にかかわる金額でございますが約5億円、件数につきましては3万5,000件程度ございまして、件数につきましては約20%の割合でございます。昨年度の実績が18%程度ございましたので、2ポイントほど上回っております。

以上でございます。

○委員長（内藤久歳君） いいですか。

ほかにございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（内藤久歳君）　　ごさいませんか。

よろしいですか。

〔発言する者なし〕

○委員長（内藤久歳君）　　以上で所管の委員の質疑を終わります

続きまして、所管以外の委員の質疑を受けます。

ごさいますか。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君）　　1点だけ。

今のコンビニ収納の中で、昨年度、特に軽自動車の収納ってすごい30%以上だったですよ
ね。今年度また、どうなんでしょうか。

○委員長（内藤久歳君）　　飯沼係長。

○管理係長（飯沼秀司君）　　軽自動車税について申し上げますと、昨年同様、今年度につきま
しても36%程度のコンビニの利用率でございまして、昨年と同様の率となっております。

以上でございます。

○委員長（内藤久歳君）　　ほかにございしますか。

三浦委員。

○委員（三浦進吾君）　　ちょっとお聞きしたいんですよ。徴収ですね、徴収できない、あるい
は差し押さえまで行く前の、例えば銀行から銀行の預金を押さえるとか、そういうことはこ
ういう中にはないんですよ。ちょっとお聞きしたいんです。

○委員長（内藤久歳君）　　小田切係長。

○徴収係長（小田切　聡君）　　銀行の調査の関係の経費ということでよろしいですか。それは
当然この中に入っております。ちなみに、今、うちのほうは預金調査ということで、電子の
調査をしています。これに対しましては1件6円50銭ということで、約7,000件の調査を毎
年やっております。

以上です。

○委員長（内藤久歳君）　　よろしいですか。

ほかにございませんか。

〔発言する者なし〕

○委員長（内藤久歳君）　　ないようですので、これで第2款総務費、第2項徴税費のうち、収
納課所管事業についての審査を終了いたします。

以上で歳出の審査を終了いたします。

次に、歳入に入ります。

審査に当たっては、一部の款、または項についてはまとめて説明を受け、質疑を行いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

その方向でよろしいでしょうか。

はい、ではそのようにいたします。

第1款市税、第1項市民税から第6項入湯税について、一括で説明を求めます。

土肥税務課長。

○税務課長（土肥冷子君） それでは、引き続き、税務課から歳入についてご説明させていただきます。

初めに、予算説明書2ページになりますが、歳入の総括1款、2ページをお願いいたします。

歳入の総括1款市税につきまして説明させていただきます。

市税の新年度予算額は84億2,570万3,000円でございます。前年度予算と比較いたしますと1億5,084万4,000円、1.8%の増額となります。

それでは、項目ごとに説明させていただきます。

予算説明書の8ページ、9ページからをお願いいたします。

1款市税、1項市民税、1目個人36億1,895万4,000円、前年度より5,312万6,000円、1.5%の増額となります。1節現年課税分は35億4,502万8,000円でございます。均等割額が1億321万5,000円、所得割額が34億4,181万3,000円でございます。

2節滞納繰越分は7,392万6,000円でございます。平成25年度の個人市民税につきましては、税収に大きく影響するような税制改正はございませんでした。依然として、個人所得の伸び悩みと税収のマイナス要因もございしますが、昨年の12月議会で、24年度の個人市民税を1億1,000万円の増額補正を行ったところございまして、前年度当初予算と比較いたしますと、約1.5%の増額を見込んでおります。

次に、法人につきましては、3億9,308万3,000円です。前年比648万2,000円、約1.7%の増額となります。1節現年課税分3億9,169万4,000円でございます。均等割額が1億4,096万円、法人税割額が2億5,073万4,000円でございます。2節滞納繰越分は138万9,000円を計上しております。法人につきましては、企業の業種により、また企業を取り巻くもろもろの状況により、税収に不確定な面もありますが、前年対比では約1.7%の増額を見込みました。

次に、2項1目固定資産税36億7,157万1,000円、前年度比2,446万4,000円の増額となります。0.7%の増額となります。1節現年課税分35億5,692万9,000円でございます。内訳としまして、土地が14億7,641万7,000円、家屋が16億2,062万9,000円、償却資産が4億5,988万3,000円でございます。土地の価格は平成25年度も下落となりますので、個別の税額も全体的には据え置き、または引き下げ傾向でございますが、宅地への地目変更等や土地の負担調整の見直しによる増額要因もございまして、課税額はほぼ前年並みとなります。家屋は評価がえ2年目の年度ですので、既存の家屋の税額は据え置きとなります。新規家屋の課税により、前年度より4,816万5,000円、約3%の増額を見込みました。

償却資産は既存の償却資産の経年減価による減額が新規の償却資産課税額を上回るものと見込まれ、2,315万円、4.8%の減額を見込んでおります。

2節滞納繰越分につきましては、1億1,464万2,000円を計上しております。

次に、2目国有資産等所在市町村交付金につきましては、現年課税分2,096万円を見込んでおります。前年度に比べ230万円、約10%の減額となっております。

続きまして、3項1目軽自動車税1億5,903万5,000円、前年比407万2,000円、2.6%の増額でございます。1節現年課税分につきましては1億5,530万3,000円でございます。内訳は原動機付自転車661万2,000円、軽自動車1億4,775万1,000円、小型特殊自動車94万円となっております。原動機付自転車、小型特殊自動車は減少傾向にありますが、コンパクトで経済的、省資源にもすぐれた軽自動車は増加傾向にあり、軽自動車全体として増額を見込んでおります。

次のページになりますが、2節滞納繰越分は373万2,000円を計上しております。

次に、4項1目市たばこ税、現年課税分は5億6,000万円でございます。喫煙者は減少傾向にありますが、平成25年4月から県たばこ税の一部が市たばこ税に移譲されまして、市のたばこ税率が14%引き上げられますので、前年度比6,500万円、約13%の増額を見込んでおります。

次に、6項1目入湯税、現年課税分については、前年度並みの210万円を見込んでおります。

以上でございます。

よろしく願いいたします。

○委員長（内藤久歳君） 説明が終わりました。

これより審議に入るわけですが、明日、歳入については全員一括で質疑を受けたいと思

ますので、お願いいたします。

質疑はございますか。

[発言する者なし]

○委員長（内藤久歳君） 質疑がないようですので、質疑を終了します。

これで第1款市税、第1項市民税から第6項入湯税についての審査を終了します。

以上で本日の審査を終了し、散会いたします。

あすは休日のため休会となります。

次会は、21日午前9時30分より再開をいたします。

ご苦労さまでした。

閉会 午後 3時18分